

注3

大学番号：国077

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前伺い

熊本大学 工学部 土木建築学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人熊本大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画本部

職名・氏名 主任・折笠 ^{オリカサ} ハルキ ^{ハルキ} 青希

電話番号 096-342-2032

（夜間） 096-342-2032

F A X 096-342-3007

e-mail sgo-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

担当部局（課）名 教育研究支援部自然科学系事務課

職名・氏名 係長・小島 ^{コジマ} チエ ^{チエ} 智絵

電話番号 096-342-3512

（夜間） 096-342-3512

F A X 096-342-3510

e-mail szk-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

＜土木建築学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	11
3. 施設・設備の整備状況、経費	22
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	24
5. 教員組織の状況	28
6. 留意事項等に対する履行状況等	86
7. その他全般的事項	87

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 熊本大学

(2) 大 学 名 熊本大学

(3) 大学の位置

〒860-8555
熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(ハラダ シンジ) 原田 信志 (平成27年4月)		
学 部 長	(ウサガワ ツヨシ) 宇佐川 毅 (平成28年4月)		
学 科 長	(シゲイ ミツロ) 重石 光弘 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 土木建築学科 学士(工学)	工学関係	4年	124人	3年次 10人	516人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	124人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	- 人 (-) [-]	1.07倍	平成30年度入試については、改組実施前の社会環境工学科と建築学科で学生募集を行ったため、社会環境工学科と建築学科の合計数を記載。 また、A0入試については学科毎の募集をしていないが、以下のとおり実施した。 志願者19名 受験者19名 合格者15名 B 入学者数には、A0入試の入学者6名を含む。
志願者数	354 (-) [5]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	276 (-) [3]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	133 (-) [1]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	133 (-) [1]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.07		-		-		-			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1 年次	133 [1] (-)	- [-] (-)	平成30年度入試については、改組実施前の社会環境工学科と建築学科で学生募集を行ったため、社会環境工学科と建築学科の合計数を記載。
2 年次			
3 年次			
4 年次			
計	133 [1] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
平成30年度	133 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	－ 人	－ 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			平成31年度	－ 人	－ 人	
平成32年度	－ 人	－ 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			平成31年度	－ 人	－ 人	
			平成32年度	－ 人	－ 人	
平成33年度	－ 人	－ 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			平成31年度	－ 人	－ 人	
			平成32年度	－ 人	－ 人	
			平成33年度	－ 人	－ 人	
合 計	133 人	0 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留學生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留學生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留學生など、定員内に含めない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{133} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜工学部 土木建築学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
自然・ 生命	文系のための数学入門(A)	1・2後		2							兼1
	数学の世界(a)	1・2後		1							兼1
	数学の世界(b)	1・2前		1							兼1
	物理学入門(A)	1・2後		2							兼2
	物理学入門(a)	1・2後		1							兼1
	物理学入門(b)	1・2後		1							兼1
	物理学入門(c)	1・2後		1							兼1
	物理学入門(d)	1・2後		1							兼1
	物理学入門(e)	1・2後		1							兼1
	物理学入門(f)	1・2前		1							兼1
	物理学入門(g)	1・2前		1							兼1
	物理学入門(h)	1・2前		1							兼1
	物理学入門(i)	1・2後		1							兼1
	物理学入門(j)	1・2後		1							兼1
	教養の化学(A)	1・2前		2							兼1
	教養の化学(B)	1・2前		2							兼1
	教養の化学(a)	1・2前		1							兼1
	教養の化学(b)	1・2前		1							兼1
	生物の世界(A)	1・2後		2							兼1
	生物の世界(B)	1・2後		2							兼1
	生物の世界(C)	1・2後		2							兼1
	生物の世界(D)	1・2後		2							兼4
	生物の世界(a)	1・2前		1							兼1
	生物の世界(b)	1・2後		1							兼1
	生物の世界(c)	1・2後		1							兼1
	生物の世界(d)	1・2前		1							兼1
	生物の世界(e)	1・2前		1							兼1
	生物の世界(f)	1・2前		1							兼1
	生物の世界(g)	1・2前		1							兼1
リベラルアーツ 科目	地球環境の現状と人類(A)	1・2前		2							兼1
	持続可能な都市と地域づくり(A)	1・2前		2							兼1
	持続可能な都市と地域づくり(B)	1・2後		2							兼4
	豊かさを持続させるものづくり(A)	1・2前		2							兼1
	豊かさを持続させるものづくり(B)	1・2前		2							兼1
	豊かさを持続させるものづくり(C)	1・2後		2							兼1
	日々の生活に垣間見る情報と通信(A)	1・2前		2							兼2
	日々の生活に垣間見る情報と通信(B)	1・2前		2							兼2
	倫理学入門(A)	1・2後		2							兼1
	倫理学入門(B)	1・2後		2							兼1
人文・ 社会	倫理学入門(a)	1・2後		1							兼1
	倫理学入門(b)	1・2後		1							兼1
	倫理学入門(c)	1・2前		1							兼1
	倫理学入門(d)	1・2前		1							兼1
	倫理学入門(e)	1・2前		1							兼1
	倫理学入門(f)	1・2前		1							兼1
	心と世界(B)	1・2前		2							兼1
	思考と論理(A)	1・2後		2							兼1
	思考と論理(B)	1・2前		2							兼1
	現代心理行動学(a)	1・2前		1							兼1
	現代心理行動学(b)	1・2後		1							兼1
	こころの科学(A)	1・2後		2							兼4
	芸術文化論(A)	1・2後		2							兼1
	言語の諸相(a)	1・2前		1							兼1
	言語の諸相(b)	1・2前		1							兼1
	言語の諸相(c)	1・2後		1							兼1
言語の諸相(d)	1・2後		1							兼1	

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
自然・ 生命	文系のための数学入門(A)	1・2後		2			1					兼1	
	文系のための数学入門(C)	2後		2								兼1	
	数学の世界(a)	1・2②		1			1					兼1	
	数学の世界(b)	1・2②		1								兼1	
	物理学入門(A)(未開講)	1・2後		2								兼2	
	物理学入門(B)	1・2①		2								兼1	
	物理学入門(a)	1・2③		1								兼1	
	物理学入門(b)	1・2④		1								兼1	
	物理学入門(c)	1・2③		1								兼1	
	物理学入門(d)	1・2④		1								兼1	
	物理学入門(e)	1・2③		1								兼1	
	物理学入門(f)	1・2②		1								兼1	
	物理学入門(g)	1・2①		1								兼1	
	物理学入門(h)	1・2②		1								兼1	
	物理学入門(i)(未開講)	1・2後		1								兼1	
	物理学入門(j)	1・2④		1								兼1	
	教養の化学(A)	1・2前		2								兼1	
	教養の化学(B)	1・2①		2								兼1	
	教養の化学(a)	1・2①		1								兼1	
	教養の化学(b)	1・2②		1								兼1	
	生物の世界(A)	1・2後		2								兼1	
	生物の世界(B)	1・2③		2								兼1	
	生物の世界(C)	1・2後		2								兼1	
	生物の世界(D)	1・2③		2								兼1	
	生物の世界(a)	1・2②		1								兼1	
	生物の世界(b)	1・2③		1								兼1	
	生物の世界(c)	1・2②		1								兼1	
	生物の世界(d)	1・2①		1								兼1	
	生物の世界(e)	1・2②		1								兼1	
	生物の世界(f)	1・2①		1								兼1	
	生物の世界(g)	1・2②		1								兼1	
	生物の世界(h)	1・2③		1								兼1	
リベラル アーツ 科目	地球環境の現状と人類(A)(未開講)	1・2前		2								兼1	
	地球環境の現状と人類(a)	1・2①		1								兼1	
	地球環境の現状と人類(b)	1・2②		1								兼1	
	持続可能な都市と地域づくり(A)	1・2前		2								兼1	
	持続可能な都市と地域づくり(B)	1・2後		2								兼4	
	豊かさを持続させるものづくり(A)	1・2②		2								兼1	
	豊かさを持続させるものづくり(B)	1・2①		2								兼1	
	豊かさを持続させるものづくり(C)	1・2③		2								兼1	
	日々の生活に垣間見る情報と通信(A)	1・2②		2								兼1	
	日々の生活に垣間見る情報と通信(B)	1・2①		2								兼1	
	人文・ 社会	倫理学入門(A)	1・2後		2								兼1
		倫理学入門(B)(未開講)	1・2後		2								兼1
		倫理学入門(C)	1・2後		2								兼1
		倫理学入門(a)	1・2②		1								兼1
		倫理学入門(b)	1・2④		1								兼1
倫理学入門(c)		1・2①		1								兼1	
倫理学入門(d)		1・2②		1								兼1	
倫理学入門(e)		1・2①		1								兼1	
倫理学入門(f)		1・2②		1								兼1	
倫理学入門(g)		1・2①		1								兼1	
倫理学入門(h)		1・2②		1								兼1	
心と世界(A)		1・2後		2								兼1	
心と世界(B)(未開講)		1・2前		2								兼1	
思考と論理(A)		1・2後		2								兼1	
思考と論理(B)(未開講)		1・2前		2								兼1	
現代心理行動学(a)(未開講)		1・2前		1								兼1	
現代心理行動学(b)(未開講)		1・2後		1								兼1	
現代心理行動学(c)		1・2④		1								兼1	
現代心理行動学(d)		1・2③		1								兼1	
現代心理行動学(e)		1・2②		1			1					兼1	
こころの科学(A)		1・2後		2								兼1	
芸術文化論(A)		1・2前		2								兼1	
芸術文化論(B)	1・2後		2								兼1		
言語の諸相(a)	1・2①		1								兼1		
言語の諸相(b)	1・2②		1								兼1		
言語の諸相(c)	1・2③		1								兼1		
言語の諸相(d)	1・2④		1								兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
リベラル アーツ科目	人文・社会	文学の諸相(a)	1・2前	1								兼1	
		文学の諸相(b)	1・2前	1								兼1	
		文学の諸相(c)	1・2前	1								兼1	
		文学の諸相(d)	1・2前	1								兼1	
		モノが語る歴史(a)	1・2前	1								兼1	
		モノが語る歴史(b)	1・2前	1								兼1	
		モノが語る歴史(c)	1・2後	1								兼1	
		モノが語る歴史(d)	1・2後	1								兼1	
		地域の世界史(a)	1・2前	1									兼1
		地域の世界史(b)	1・2前	1									兼1
		地域の世界史(c)	1・2前	1									兼1
		地域の世界史(d)	1・2前	1									兼1
		地域の世界史(e)	1・2後	1									兼1
		地域の世界史(f)	1・2後	1									兼1
		地域の世界史(g)	1・2前	1									兼1
		地域の世界史(h)	1・2前	1									兼1
		日本社会の歴史(a)	1・2後	1									兼1
		日本社会の歴史(b)	1・2後	1									兼1
		日本社会の歴史(c)	1・2後	1									兼1
		日本社会の歴史(d)	1・2後	1									兼1
		法学の基礎(A)	1・2後	2									兼1
		法学の基礎(B)	1・2後	2									兼1
		法学の基礎(C)	1・2前	2									兼1
		現代経済問題の諸相(a)	1・2前	1									兼1
		現代政治の諸相(a)	1・2前	1									兼1
		現代政治の諸相(b)	1・2前	1									兼2
		現代政治の諸相(c)	1・2前	1									兼2
		現代政治の諸相(d)	1・2後	1									兼2
		現代政治の諸相(e)	1・2後	1									兼2
		最前線の社会文化研究(A)	1・2後	2									兼2
		最前線の社会文化研究(D)	1・2前	2									兼1
		最前線の社会文化研究(a)	1・2前	1									兼1
		最前線の社会文化研究(b)	1・2前	1									兼1
		最前線の社会文化研究(c)	1・2前	1									兼1
		最前線の社会文化研究(d)	1・2前	1									兼1
		最前線の社会文化研究(e)	1・2後	1									兼1
		最前線の社会文化研究(f)	1・2後	1									兼1
		最前線の社会文化研究(g)	1・2前	1									兼1
		最前線の社会文化研究(h)	1・2前	1									兼1
		現代社会の解説(a)	1・2後	1									兼1
現代社会の解説(b)	1・2後	1									兼1		
現代社会の解説(c)	1・2前	1									兼1		
現代社会の解説(d)	1・2前	1									兼1		
自然と人間の地理学(A)	1・2前	2									兼1		
自然と人間の地理学(B)	1・2前	2									兼1		
自然と人間の地理学(C)	1・2前	2									兼1		
現代教養科目	自然・生命	数学と文化(a)	1・2前	1								兼1	
		数学と文化(b)	1・2前	1								兼1	
		物理学の世界(a)	1・2前	1								兼1	
		暮らしと化学(A)	1・2後	2								兼1	
		暮らしと化学(B)	1・2後	2								兼1	
		暮らしと化学(C)	1・2後	2								兼1	
		暮らしと化学(D)	1・2前	2								兼1	
		暮らしと化学(a)	1・2前	1								兼1	
		暮らしと化学(b)	1・2前	1								兼1	
		化学と環境(A)	1・2後	2								兼1	
化学と環境(B)	1・2前	2								兼1			
化学と環境(C)	1・2後	2								兼1			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担
			必修	選択	自由	教授 ・ 准教授	講師 ・ 助 教	助 手			
リベラル アーツ科目	人文・社会	文学の諸相(a)	1・2③	1							兼1
		文学の諸相(b)	1・2④	1							兼1
		文学の諸相(c)(未開講)	1・2前	1							兼1
		文学の諸相(d)(未開講)	1・2前	1							兼1
		モノが語る歴史(a)(未開講)	1・2前	1							兼1
		モノが語る歴史(b)(未開講)	1・2前	1							兼1
		モノが語る歴史(c)(未開講)	1・2後	1							兼1
		モノが語る歴史(d)(未開講)	1・2後	1							兼1
		モノが語る歴史(e)	1・2③	1							兼1
		モノが語る歴史(f)	1・2④	1							兼1
		地域の世界史(a)	1・2①	1							兼1
		地域の世界史(b)	1・2②	1							兼1
		地域の世界史(c)	1・2①	1							兼1
		地域の世界史(d)(未開講)	1・2前	1							兼1
		地域の世界史(e)	1・2①	1							兼1
		地域の世界史(f)(未開講)	1・2後	1							兼1
		地域の世界史(g)	1・2①	1							兼1
		地域の世界史(h)(未開講)	1・2前	1							兼1
		地域の世界史(i)	1・2②	1							兼1
		日本社会の歴史(a)	1・2④	1							兼1
		日本社会の歴史(b)	1・2④	1							兼1
		日本社会の歴史(c)	1・2②	1							兼1
		日本社会の歴史(d)	1・2③	1							兼1
		日本社会の歴史(e)	1・2②	1							兼1
		日本社会の歴史(f)	1・2①	1							兼1
		法学の基礎(A)	1・2後	2							兼1
		法学の基礎(B)(未開講)	1・2後	2							兼1
		法学の基礎(C)	1・2前	2							兼1
		法学の基礎(D)	1・2前	2							兼1
		法学の基礎(E)	1・2前	2							兼1
		法学の基礎(F)	1・2前	2							兼1
		現代経済問題の諸相(a)(未開講)	1・2前	1							兼1
		現代政治の諸相(a)(未開講)	1・2前	1							兼1
		現代政治の諸相(b)	1・2②	1							兼2
		現代政治の諸相(c)	1・2①	1							兼2
		現代政治の諸相(d)	1・2③	1							兼2
		現代政治の諸相(e)	1・2④	1							兼2
		現代政治の諸相(f)	1・2③	1							兼1
		最前線の社会文化研究(A)	1・2前	2							兼2
		最前線の社会文化研究(B)	1・2前	2							兼1
		最前線の社会文化研究(D)	1・2前	2							兼1
		最前線の社会文化研究(a)(未開講)	1・2前	1							兼1
		最前線の社会文化研究(b)(未開講)	1・2前	1							兼1
		最前線の社会文化研究(c)	1・2①	1							兼1
		最前線の社会文化研究(d)	1・2②	1							兼1
		最前線の社会文化研究(e)	1・2③	1							兼1
		最前線の社会文化研究(f)	1・2④	1							兼1
		最前線の社会文化研究(g)	1・2①	1							兼1
		最前線の社会文化研究(h)(未開講)	1・2前	1							兼1
		現代社会の解説(a)	1・2③	1							兼1
		現代社会の解説(b)(未開講)	1・2後	1							兼1
		現代社会の解説(c)	1・2①	1							兼1
		現代社会の解説(d)	1・2②	1							兼1
		現代社会の解説(e)	1・2④	1							兼1
		自然と人間の地理学(A)(未開講)	1・2前	2							兼1
		自然と人間の地理学(B)(未開講)	1・2前	2							兼1
		自然と人間の地理学(C)(未開講)	1・2前	2							兼1
		自然と人間の地理学(a)	1・2①	1							兼1
		自然と人間の地理学(b)	1・2②	1							兼1
		自然と人間の地理学(c)	1・2①	1							兼1
現代教養科目	自然・生命	数学と文化(a)(未開講)	1・2前	1							兼1
		数学と文化(b)(未開講)	1・2前	1							兼1
		数学と文化(c)	1・2③	1							兼1
		数学と文化(d)	1・2④	1							兼1
		物理学の世界(A)	1・2④	2							兼1
		物理学の世界(a)	1・2④	1							兼1
		暮らしと化学(A)	1・2後	2							兼1
		暮らしと化学(B)	1・2④	2							兼1
		暮らしと化学(C)	1・2④	2							兼1
		暮らしと化学(D)	1・2前	2							兼1
		暮らしと化学(E)	1・2後	2							兼1
		暮らしと化学(F)	1・2後	2							兼1
		暮らしと化学(G)	1・2前	2							兼1
		暮らしと化学(a)(未開講)	1・2前	1							兼1
		暮らしと化学(b)(未開講)	1・2前	1							兼1
		化学と環境(A)(未開講)	1・2後	2							兼1
化学と環境(B)(未開講)	1・2前	2							兼1		
化学と環境(C)(未開講)	1・2後	2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
現代教養科目	自然・生命	最先端の生命科学(A)	1・2後	2							兼5
		最先端の生命科学(a)	1・2前	1							兼7
		最先端の生命科学(b)	1・2前	1							兼6
		最先端の生命科学(c)	1・2後	1							兼2
		最先端の生命科学(d)	1・2後	1							兼1
		地球環境科学の最前線(A)	1・2前	2							兼1
		地球環境科学の最前線(a)	1・2後	1							兼1
		地球環境科学の最前線(b)	1・2後	1							兼1
		地球環境科学の最前線(c)	1・2後	1							兼2
		地球環境科学の最前線(d)	1・2後	1							兼2
		地球環境科学の最前線(e)	1・2後	1							兼1
		地球環境科学の最前線(f)	1・2後	1							兼1
		地球環境科学の最前線(g)	1・2前	1							兼4
		地球環境科学の最前線(h)	1・2前	1							兼1
		地域づくりと科学技術(A)	1・2前	2							兼1
		地域づくりと科学技術(B)	1・2前	2							兼1
		地域づくりと科学技術(C)	1・2後	2							兼1
		地域づくりと科学技術(D)	1・2後	2							兼1
		地域づくりと科学技術(E)	1・2前	2							兼1
		地域づくりと科学技術(F)	1・2前	2							兼1
		ものづくりの科学と技術(A)	1・2前	2							兼1
		ものづくりの科学と技術(B)	1・2前	2							兼1
		ものづくりの科学と技術(C)	1・2前	2							兼1
		ものづくりの科学と技術(D)	1・2前	2							兼2
		ものづくりの科学と技術(E)	1・2前	2							兼2
		ものづくりの科学と技術(F)	1・2後	2							兼2
		ものづくりの科学と技術(G)	1・2前	2							兼1
		ものづくりの科学と技術(H)	1・2後	2							兼1
		暮らしと情報・通信技術(a)	1・2後	1							兼1
		暮らしと情報・通信技術(b)	1・2後	1							兼1
		暮らしと情報・通信技術(c)	1・2後	1							兼1
		健康の科学(A)	1・2前	2							兼1
		健康の科学(B)	1・2後	2							兼8
		健康の科学(a)	1・2前	1							兼1
		健康の科学(b)	1・2前	1							兼1
		病気の医科学(A)	1・2前	2							兼10
		病気の医科学(B)	1・2後	2							兼1
		臨床医学の最前線(A)	1・2前	2							兼1
		現代社会と医学(A)	1・2後	2							兼1
		現代社会と医学(B)	1・2前	2							兼6
人文・社会	心身の健康と看護	心身の健康と看護(A)	1・2前	2							兼2
		心身の健康と看護(B)	1・2前	2							兼2
		心身の健康と看護(C)	1・2後	2							兼1
	医療における理工学	医療における理工学(a)	1・2前	1							兼1
		医療における理工学(b)	1・2前	1							兼1
		医療における理工学(c)	1・2後	1							兼1
		医療における理工学(d)	1・2後	1							兼1
	現代の医学検査	現代の医学検査(a)	1・2前	1							兼1
		現代の医学検査(b)	1・2前	1							兼2
		現代医療と生命科学(a)	1・2前	1							兼1
		現代医療と生命科学(b)	1・2前	1							兼1
	薬科学入門	薬科学入門(A)	1・2前	2							兼1
		薬科学入門(B)	1・2前	2							兼7
	現代社会と薬学	現代社会と薬学(A)	1・2前	2							兼5
		現代教育について考える(A)	1・2前	2							兼1
		現代教育について考える(B)	1・2後	2							兼4
		現代教育について考える(C)	1・2後	2							兼3
		現代教育について考える(D)	1・2前	2							兼3
	現代教育について考える	現代教育について考える(E)	1・2後	2							兼1
		心理学の探求(A)	1・2前	2							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
現代教養科目	自然・生命	化学と環境(a)	1・2後	1							兼1
		化学と環境(b)	1・2後	1							兼1
		最先端の生命科学(A)(未開講)	1・2後	2							兼5
		最先端の生命科学(a)	1・2後	1							兼1
		最先端の生命科学(b)	1・2後	1							兼1
		最先端の生命科学(c)	1・2後	1							兼2
		最先端の生命科学(d)	1・2後	1							兼1
		最先端の生命科学(e)	1・2後	1							兼2
		最先端の生命科学(f)	1・2後	1							兼1
		地球環境科学の最前線(A)	1・2後	2							兼1
		地球環境科学の最前線(a)	1・2後	1							兼1
		地球環境科学の最前線(b)	1・2後	1							兼1
		地球環境科学の最前線(c)	1・2後	1							兼2
		地球環境科学の最前線(d)	1・2後	1							兼2
		地球環境科学の最前線(e)	1・2後	1							兼1
		地球環境科学の最前線(f)	1・2後	1							兼1
		地球環境科学の最前線(g)	1・2前	1							兼4
		地球環境科学の最前線(h)	1・2後	1							兼4
		地域づくりと科学技術(A)	1・2後	2							兼5
		地域づくりと科学技術(B)	1・2後	2							兼6
		地域づくりと科学技術(C)	1・2後	2							兼1
		地域づくりと科学技術(D)	1・2後	2							兼1
		地域づくりと科学技術(E)	1・2後	2							兼1
		地域づくりと科学技術(F)	1・2前	2							兼9
		ものづくりの科学と技術(A)	1・2後	2							兼1
		ものづくりの科学と技術(B)	1・2後	2							兼1
		ものづくりの科学と技術(C)	1・2後	2							兼1
		ものづくりの科学と技術(D)	1・2後	2							兼2
		ものづくりの科学と技術(E)	1・2後	2							兼2
		ものづくりの科学と技術(F)	1・2後	2							兼2
		ものづくりの科学と技術(G)	1・2後	2							兼3
		ものづくりの科学と技術(H)	1・2後	2							兼6
		暮らしと情報・通信技術(a)	1・2後	1							兼7
		暮らしと情報・通信技術(b)	1・2後	1							兼6
		暮らしと情報・通信技術(c)	1・2後	1							兼4
		健康の科学(A)(未開講)	1・2前	2							兼1
		健康の科学(B)	1・2後	2							兼7
		健康の科学(C)	1・2後	2							兼7
		健康の科学(a)	1・2後	1							兼1
		健康の科学(b)	1・2後	1							兼1
		病気の医科学(A)(未開講)	1・2前	2							兼10
		病気の医科学(B)	1・2後	2							兼1
		病気の医科学(C)	1・2後	2							兼1
		臨床医学の最前線(A)(未開講)	1・2前	2							兼1
		臨床医学の最前線(B)	1・2後	2							兼1
		現代社会と医学(A)	1・2後	2							兼1
		現代社会と医学(B)	1・2前	2							兼6
		現代社会と医学(C)	1・2後	2							兼1
人文・社会	心身の健康と看護	心身の健康と看護(A)(未開講)	1・2前	2							兼2
		心身の健康と看護(B)(未開講)	1・2前	2							兼2
		心身の健康と看護(C)(未開講)	1・2後	2							兼1
	医療における理工学	心身の健康と看護(D)	1・2後	2							兼2
		心身の健康と看護(E)	1・2前	2							兼2
		医療における理工学(a)	1・2後	1							兼1
		医療における理工学(b)	1・2後	1							兼1
	現代の医学検査	医療における理工学(c)	1・2後	1							兼1
		医療における理工学(d)	1・2後	1							兼1
		医療における理工学(e)	1・2後	1							兼3
		現代の医学検査(a)	1・2後	1							兼1
	現代の医学検査	現代の医学検査(b)	1・2後	1							兼2
		現代医療と生命科学(a)	1・2後	1							兼1
		現代医療と生命科学(b)	1・2後	1							兼1
		現代医療と生命科学(c)	1・2後	1							兼2
	薬科学入門	薬科学入門(A)	1・2後	2							兼6
		薬科学入門(B)(未開講)	1・2前	2							兼7
	現代社会と薬学	薬科学入門(a)	1・2後	1							兼1
		薬科学入門(b)	1・2後	1							兼1
		現代社会と薬学(A)(未開講)	1・2前	2							兼5
		現代教育について考える(A)	1・2前	2							兼1
		現代教育について考える(B)(未開講)	1・2後	2							兼4
	現代教育について考える	現代教育について考える(C)(未開講)	1・2後	2							兼3
		現代教育について考える(D)	1・2前	2							兼3
		現代教育について考える(E)	1・2後	2							兼1
		現代教育について考える(a)	1・2後	1							兼1
		現代教育について考える(b)	1・2後	1							兼1
	現代教育について考える	現代教育について考える(c)	1・2後	1							兼3
		現代教育について考える(d)	1・2後	1							兼3
		心理学の探求(A)	1・2後	2							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
現代教養科目	心理学の探求(B)	1・2後		2							兼1
	芸術への招待(A)	1・2前		2							兼6
	芸術への招待(B)	1・2後		2							兼4
	芸術への招待(C)	1・2後		2							兼1
	現代と言語(a)	1・2後		1							兼1
	現代と言語(b)	1・2後		1							兼1
	現代と文学(a)	1・2後		1							兼1
	現代と文学(c)	1・2前		1							兼1
	現代と文学(d)	1・2前		1							兼1
	現代世界の形成と課題(a)	1・2前		1							兼1
	現代世界の形成と課題(b)	1・2後		1							兼1
	最先端の法学(A)	1・2前		2							兼1
	現代社会と経済(a)	1・2後		1							兼1
	現代社会と経済(b)	1・2後		1							兼1
	現代社会と経済(c)	1・2前		1							兼1
	現代社会と経済(d)	1・2後		1							兼1
	現代社会と経済(e)	1・2後		1							兼1
学系外	学際科目1	1・2後		1							兼2
	学際科目2	1・2前		1							兼1
	学際科目3	1・2後		1							兼1
	日本事情(C)	1・2前		2							兼5
	日本事情(D)	1・2後		2							兼4
M u l t i d i s c i p l i n a r y S t u d i e s	Introduction to Science and Technology I (a)	1・2前		1							兼1
	Introduction to Science and Technology II (a)	1・2前・後		1							兼1
	Socio-Cultural Studies(A)	1・2前・後		2							兼1
	Socio-Cultural Studies(b)	1・2前・後		1							兼1
	Basic Economics(a)	1・2後		1							兼1
	Basic Economics(b)	1・2後		1							兼1
	Visual Media(A)	1・2前・後		2							兼1
	Music and Humanity(a)	1・2前		1							兼1
	World History(a)	1・2前・後		1							兼1
	World History(b)	1・2前・後		1							兼1
	World History(c)	1・2前・後		1							兼1
	Area Studies(a)	1・2前・後		1							兼1
	Area Studies(b)	1・2前・後		1							兼1
	Area Studies(c)	1・2前		1							兼1
	Area Studies(d)	1・2前		1							兼1
	Area Studies(E)	1・2前・後		1							兼3
	Technical English Communication(a)	1・2前・後		1							兼1
	Technical English Communication(b)	1・2前		1							兼1
	Technical English Communication(c)	1・2前・後		1							兼1
	Technical English Communication(d)	1・2前・後		1							兼1
	Technical English Communication(E)	1・2前		2							兼1
	Technical English Communication(f)	1・2後		1							兼1
	Technical English Communication(g)	1・2前・後		1							兼1
	Global Career Development(a)	1・2前・後		1							兼2
	Global Career Development(b)	1・2後		1							兼2
基礎科目	英語A-1	1前・後		1							兼1
	英語A-2	1前・後		1							兼1
	英語B-1	1前・後		1							兼1
	英語B-2	1前・後		1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
現代教養科目	心理学の探求(B)	1・2前		2							兼1
	芸術への招待(A)	1・2前		2							兼1
	芸術への招待(B)	1・2後		2							兼4
	芸術への招待(C)	1・2後		2							兼1
	現代と言語(a)	1・2③		1							兼1
	現代と言語(b)	1・2④		1							兼1
	現代と文学(a)	1・2④		1							兼1
	現代と文学(c)(未開講)	1・2前		1							兼1
	現代と文学(d)(未開講)	1・2前		1							兼1
	現代と文学(e)	1・2①		1							兼1
	現代と文学(f)	1・2②		1							兼1
	現代世界の形成と課題(a)	1・2④		1							兼1
	現代世界の形成と課題(b)	1・2③		1							兼5
	現代世界の形成と課題(c)	1・2④		1							兼1
	暮らしの中の憲法	2前・後		2							兼3
	最先端の法学(A)(未開講)	1・2前		2							兼1
学系外	現代社会と経済(A)	1・2後		2							兼1
	現代社会と経済(a)	1・2③		1							兼1
	現代社会と経済(b)	1・2④		1							兼1
	現代社会と経済(c)(未開講)	1・2前		1							兼1
	現代社会と経済(d)(未開講)	1・2後		1							兼1
M u l t i d i s c i p l i n a r y S t u d i e s	現代社会と経済(e)(未開講)	1・2後		1							兼1
	現代の政治(a)	1・2③		1							兼1
	現代の政治(b)	1・2②		1							兼1
	学際科目1	1・2④		1							兼2
	学際科目2	1・2②		1							兼1
	学際科目3	1・2③		1							兼2
	日本事情(C)(未開講)	1・2前		2							兼5
	日本事情(D)(未開講)	1・2後		2							兼4
	Introduction to Science and Technology I (a)(未開講)	1・2前		1							兼1
	Introduction to Science and Technology I (b)	1・2③		1							兼1
	Introduction to Science and Technology I (c)	1・2④		1							兼1
	Introduction to Science and Technology I (d)	1・2④		1							兼1
	Introduction to Science and Technology I (e)	1・2④		1							兼1
	Introduction to Science and Technology II (a)(未開講)	1・2前・後		1							兼1
	Introduction to Science and Technology II (b)	1・2④		1							兼1
	Introduction to Science and Technology II (c)	1・2④		1							兼1
M u l t i d i s c i p l i n a r y S t u d i e s	Socio-Cultural Studies(A)	1・2前・後		2							兼1
	Socio-Cultural Studies(D)	1・2③		2							兼1
	Socio-Cultural Studies(b)	1・2④		1							兼1
	Socio-Cultural Studies(c)	1・2④		1							兼1
	Socio-Cultural Studies(d)	1・2④		1							兼1
	Statistics(a)	1・2③		1							兼1
	Basic Economics(a)	1・2③		1							兼1
	Basic Economics(b)(未開講)	1・2後		1							兼1
	Visual Media(A)	1・2前・後		2							兼1
	Music and Humanity(a)(未開講)	1・2前		1							兼1
	World History(a)	1・2④		1							兼1
	World History(b)	1・2④		1							兼1
	World History(c)	1・2④		1							兼1
	Academic Foundations(a)	1・2③		1							兼2
	Area Studies(a)	1・2④		1							兼1
	Area Studies(b)	1・2④		1							兼1
S t u d i e s	Area Studies(c)(未開講)	1・2前		1							兼1
	Area Studies(d)(未開講)	1・2前		1							兼1
	Area Studies(E)(未開講)	1・2前・後		1							兼3
	Area Studies(a)	1・2③		1							兼1
	Area Studies(f)	1・2④		1							兼1
	Area Studies(g)	1・2④		1							兼1
	Area Studies(h)	1・2④		1							兼1
	Comprehensive English Communication (a)	1・2④		1							兼1
	Technical English Communication(a)	1・2④		1							兼1
	Technical English Communication(b)	1・2③		1							兼1
	Technical English Communication(c)(未開講)	1・2前・後		1							兼1
	Technical English Communication(d)(未開講)	1・2前・後		1							兼1
	Technical English Communication(e)	1・2①		1							兼1
	Technical English Communication(E)(未開講)	1・2前		2							兼1
	Technical English Communication(f)	1・2④		1							兼1
	Technical English Communication(g)	1・2①		1							兼1
	Technical English Communication(h)	1・2④		1							兼1
基礎科目	Global Career Development(a)	1・2④		1							兼2
	Global Career Development(b)	1・2④		1							兼2
	英語A-1	1前・後		1							兼18
	英語A-2	1前・後		1				1	1		兼20
	英語B-1	1前・後		1				1	1		兼22
英語O-2	英語B-2	1前・後		1				1	1		兼13
	英語O-1	2前		1				1			兼18
	英語O-2	2後		1				1			兼18

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎科目	英語D-1	2前・後	1								兼1
	英語D-2	2前・後	1								兼1
	ドイツ語A-1	1前		1							兼1
	ドイツ語A-2	1前		1							兼1
	ドイツ語B-1	1後		1							兼1
	ドイツ語B-2	1後		1							兼1
	ドイツ語C-1	2前		1							兼1
	ドイツ語C-2	2後		1							兼1
	ドイツ語D-1	2前		1							兼1
	ドイツ語D-2	2後		1							兼1
	ドイツ語a-1	1前		1							兼1
	ドイツ語a-2	1後		1							兼1
	フランス語A-1	1前		1							兼1
	フランス語A-2	1前		1							兼1
	フランス語B-1	1後		1							兼1
	フランス語B-2	1後		1							兼1
	フランス語C-1	2前		1							兼1
	フランス語C-2	2後		1							兼1
	フランス語D-1	2前		1							兼1
	フランス語D-2	2後		1							兼1
	フランス語a-1	1前		1							兼1
	フランス語a-2	1後		1							兼1
	中国語A-1	1前		1							兼1
	中国語A-2	1前		1							兼1
	中国語B-1	1後		1							兼1
	中国語B-2	1後		1							兼1
	中国語C-1	2前		1							兼1
	中国語C-2	2後		1							兼1
	中国語D-1	2前		1							兼1
	中国語D-2	2後		1							兼1
	中国語a-1	1前		1							兼1
	中国語a-2	1後		1							兼1
	コリア語A-1	1前		1							兼1
	コリア語A-2	1前		1							兼1
	コリア語B-1	1後		1							兼1
	コリア語B-2	1後		1							兼1
	コリア語C-1	2前		1							兼1
	コリア語C-2	2後		1							兼1
	コリア語D-1	2前		1							兼1
	コリア語D-2	2後		1							兼1
	コリア語a-1	1前		1							兼1
	コリア語a-2	1後		1							兼1
	日本語A-1	1・2前・後		1							兼1
	日本語A-2	1・2前・後		1							兼1
	日本語B-1	1・2前・後		1							兼1
	日本語B-2	1・2前・後		1							兼1
	日本語C-1	1・2前・後		1							兼1
	日本語C-2	1・2前・後		1							兼1
	日本語D-1	1・2前・後		1							兼1
	日本語D-2	1・2前・後		1							兼1
外国語科目	英語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	ドイツ語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	ドイツ語Ⅱ-2	2後		1							兼1
	ドイツ語Ⅲ-1	2前		1							兼1
	ドイツ語Ⅲ-2	2後		1							兼1
	フランス語Ⅱ-1	1・2前		1							兼1
	フランス語Ⅱ-2	1・2後		1							兼1
	フランス語Ⅲ-1	1・2前		1							兼1
	フランス語Ⅲ-2	1・2後		1							兼1
	中国語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	中国語Ⅱ-2	2後		1							兼1
	中国語Ⅲ-1	2前		1							兼1
	中国語Ⅲ-2	2後		1							兼1
	コリア語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	コリア語Ⅱ-2	2後		1							兼1
	コリア語Ⅲ-1	2前		1							兼1
	コリア語Ⅲ-2	2後		1							兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎科目	英語D-1	2前	1								兼4
	英語D-2	2後	1								兼4
	ドイツ語A-1	1前		1							兼5
	ドイツ語A-2	1後		1							兼5
	ドイツ語B-1	1前		1							兼4
	ドイツ語B-2	1後		1							兼4
	ドイツ語C-1	2前		1							兼5
	ドイツ語C-2	2後		1							兼5
	ドイツ語D-1	2前		1							兼1
	ドイツ語D-2	2後		1							兼1
	ドイツ語a-1	1前		1							兼2
	ドイツ語a-2	1後		1							兼2
	フランス語A-1	1前		1							兼3
	フランス語A-2	1後		1							兼3
	フランス語B-1	1前		1							兼4
	フランス語B-2	1後		1							兼4
	フランス語C-1	2前		1							兼4
	フランス語C-2	2後		1							兼4
	フランス語D-1	2前		1							兼1
	フランス語D-2	2後		1							兼1
	フランス語a-1	1前		1							兼6
	フランス語a-2	1後		1							兼6
	中国語A-1	1前		1							兼7
	中国語A-2	1後		1							兼7
	中国語B-1	1前		1							兼7
	中国語B-2	1後		1							兼7
	中国語C-1	2前		1							兼4
	中国語C-2	2後		1							兼4
	中国語D-1	2前		1							兼1
	中国語D-2	2後		1							兼1
	中国語a-1	1前		1							兼2
	中国語a-2	1後		1							兼2
	コリア語A-1	1前		1							兼4
	コリア語A-2	1後		1							兼4
	コリア語B-1	1前		1							兼3
	コリア語B-2	1後		1							兼3
	コリア語C-1	2前		1							兼2
	コリア語C-2	2後		1							兼2
	コリア語D-1	2前		1							兼1
	コリア語D-2	2後		1							兼1
	コリア語a-1(未開講)	1前		1							兼1
	コリア語a-2(未開講)	1後		1							兼1
	日本語A-1	1・2前		1							兼2
	日本語A-2	1・2前・後		1							兼3
	日本語B-1	1・2前		1							兼2
	日本語B-2	1・2後		1							兼2
	日本語C-1	1・2前		1							兼1
	日本語C-2	1・2前・後		1							兼3
	日本語D-1	1・2前		1							兼2
	日本語D-2	1・2後		1							兼2
外国語科目	英語Ⅰ-1	1前		1							兼4
	英語Ⅰ-2	1後		1							兼1
	英語Ⅱ(未開講)	2前		1							兼1
	ドイツ語Ⅰ-1	1前		1							兼2
	ドイツ語Ⅰ-2	1後		1							兼2
	ドイツ語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	ドイツ語Ⅱ-2	2後		1							兼1
	ドイツ語Ⅲ-1(未開講)	2前		1							兼1
	ドイツ語Ⅲ-2(未開講)	2後		1							兼1
	フランス語Ⅰ-1	1前		1							兼2
	フランス語Ⅰ-2	1後		1							兼2
	フランス語Ⅱ-1(未開講)	1・2前		1							兼1
	フランス語Ⅱ-2(未開講)	1・2後		1							兼1
	フランス語Ⅲ-1	2前		1							兼1
	フランス語Ⅲ-2	2後		1							兼1
	中国語Ⅰ-1	1前		1							兼2
	中国語Ⅰ-2	1後		1							兼2
	中国語Ⅱ-1(未開講)	2前		1							兼1
	中国語Ⅱ-2(未開講)	2後		1							兼1
	中国語Ⅲ-1(未開講)	2前		1							兼1
	中国語Ⅲ-2(未開講)	2後		1							兼1
外国語科目	コリア語Ⅰ-1	1前		1							兼2
	コリア語Ⅰ-2	1後		1							兼2
	コリア語Ⅱ-1	2前		1							兼1
	コリア語Ⅱ-2	2後		1							兼1
	コリア語Ⅲ-1(未開講)	2前		1							兼1
	コリア語Ⅲ-2(未開講)	2後		1							兼1
	ロシア語Ⅰ-1	1前		1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	ロシア語Ⅱ-1	2前	1								兼1
	ロシア語Ⅱ-2	2後	1								兼1
	スペイン語Ⅱ-1	2前	1								兼1
	スペイン語Ⅱ-2	2後	1								兼1
	日本語Ⅰ-1	2前	1								兼1
	日本語Ⅰ-2	2後	1								兼1
	日本語Ⅱ-1	2前	1								兼1
	日本語Ⅱ-2	2後	1								兼1
	日本語Ⅲ-1	2前	1								兼1
	日本語Ⅲ-2	2後	1								兼1
	日本語Ⅳ-1	2前	1								兼1
	日本語Ⅳ-2	2後	1								兼1
	情報基礎A	1前	1								兼1
	情報基礎B	1後	1								兼1
	情報処理概論	2後	1								兼8
	肥後熊本学	1前・後	1								兼8
基礎科目	微分積分Ⅰ	1前	2								兼1
	微分積分Ⅱ	1前	2								兼1
	微分積分概論	1前	2								兼1
	線形代数Ⅰ	1後	2								兼1
	線形代数Ⅱ	1後	2								兼1
	線形代数概論	1後	2								兼1
	統計学Ⅰ	1前	2								兼1
	統計学Ⅱ	1後	2								兼1
	統計学概論	1後	2								兼1
	物理学Ⅰ	1前	2								兼1
	物理学Ⅱ	1後	2								兼1
	物理学	1前	2								兼1
	物理学基礎実験	1前・後	1								兼1
	化学Ⅰ	1前	2								兼1
	化学Ⅱ	1後	2								兼1
	化学基礎実験	1前・後	1								兼1
理系基礎科目	生物学Ⅰ	1前	2								兼1
	生物学Ⅱ	1後	2								兼1
	生物学基礎実験	1前・後	1								兼1
	地学Ⅰ	1前	2								兼1
	地学Ⅱ	1後	2								兼1
	地学基礎実験	1前・後	1								兼1
	体育・スポーツ科学	1前・後	2								兼1
キャリア科目	キャリア科目1	1・2前	2								兼1
	キャリア科目2	1・2後	2								兼1
	キャリア科目3	1・2後	2								兼1
	キャリア科目4	1・2後	2								兼1
	キャリア科目5	1・2前	2								兼1
	キャリア科目6	1・2前	2								兼1
	キャリア科目7	1・2後	2								兼1
	キャリア科目8	1・2前	2								兼1
	キャリア科目9	1・2前	2								兼1
	キャリア科目10	1・2後	2								兼1
	キャリア科目51	1・2休	1								兼1
	キャリア科目52	1・2前	1								兼1
	キャリア科目53	1前・後	1								兼1
	キャリア科目54	1・2前	1								兼1
	キャリア科目55	1・2後	1								兼1
	キャリア科目56	1・2前	1								兼1
	キャリア科目57	1・2後	1								兼1
	キャリア科目58	1・2前	1								兼1
開放科目	開放科目1	1・2前	2								兼1
	開放科目2	1・2前	2								兼1
	開放科目3	1・2後	2								兼1
	開放科目4	1・2後	2								兼1
	開放科目5	1・2前	2								兼1
	開放科目6	1・2後	2								兼1
	開放科目7	1・2前	1								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	ロシア語Ⅰ-2	1後	1								兼1
	ロシア語Ⅱ-1(未開講)	2前	1								兼1
	ロシア語Ⅱ-2(未開講)	2後	1								兼1
	スペイン語Ⅰ-1	1前	1								兼1
	スペイン語Ⅰ-2	1後	1								兼1
	スペイン語Ⅱ-1	2前	1								兼1
	スペイン語Ⅱ-2	2後	1								兼1
	イタリア語Ⅰ-1	1前	1								兼1
	イタリア語Ⅰ-2	1後	1								兼1
	ラテン語Ⅰ-1	1前	1								兼1
	ラテン語Ⅰ-2	1後	1								兼1
	日本語Ⅰ-1(未開講)	2前	1								兼1
	日本語Ⅰ-2	1・2前・後	1								兼2
	日本語Ⅱ-1(未開講)	2前	1								兼1
	日本語Ⅱ-2	1・2前・後	1								兼2
	日本語Ⅲ-1	1・2前	1								兼3
	日本語Ⅲ-2	1・2前・後	1								兼6
	日本語Ⅳ-1	1前	1								兼1
	日本語Ⅳ-2	1・2前・後	1								兼8
情報科目	情報基礎A	1前	1								兼10
	情報基礎B	1後	1								兼10
	情報処理概論	2後	1								兼8
	肥後熊本学	1・2前・後	1								兼16
	微分積分Ⅰ	1前	2				1				兼10
	微分積分Ⅱ	1後	2				1				兼8
	微分積分概論(未開講)	1前	2								兼1
	線形代数Ⅰ	1後	2								兼12
	線形代数Ⅱ	1後	2								兼11
	線形代数概論(未開講)	1後	2								兼1
	数学概論	1前	2								兼2
	統計学Ⅰ	2前	2								兼3
	統計学Ⅱ	2後	2								兼2
	統計学概論	1後	2								兼1
	物理学Ⅰ	1前	2								兼3
	物理学Ⅱ	1後	2								兼4
	物理学	1前	2								兼1
理系基礎科目	物理学基礎実験	1・2前・後	1								兼4
	化学Ⅰ	1前	2								兼2
	化学Ⅱ	1後	2								兼3
	化学基礎実験	1・2前・後	1								兼5
	生物学Ⅰ	1前	2								兼2
	生物学Ⅱ	1後	2								兼2
	生物学基礎実験	1・2前・後	1								兼2
	地学Ⅰ	1前	2								兼2
	地学Ⅱ	1後	2								兼2
	地学基礎実験	1・2前・後	1								兼1
	体育・スポーツ科学	1前・後	2								兼10
キャリア科目	キャリア科目1	1・2前	2				1				兼1
	キャリア科目2	1・2後	2				1				兼7
	キャリア科目3	1・2後	2								兼1
	キャリア科目4(未開講)	1・2後	2								兼3
	キャリア科目5	1・2後	2								兼3
	キャリア科目6	1・2前	2								兼3
	キャリア科目7	1・2後	2								兼3
	キャリア科目8(未開講)	1・2前	2								兼1
	キャリア科目9	1・2前	2								兼9
	キャリア科目10	1・2後	2								兼1
	キャリア科目11	1・2前	2								兼1
	キャリア科目12	1・2後	2								兼1
	キャリア科目13	1・2前	2								兼1
	キャリア科目14	1・2後	2								兼1
	キャリア科目51	1・2前・後	1				1				兼2
	キャリア科目52	1・2前	1								兼2
	キャリア科目53	1・2前・後	1								兼7
開放科目	キャリア科目54	1・2前	1								兼1
	キャリア科目55	1・2後	1								兼1
	キャリア科目56	1・2前	1								兼1
	キャリア科目57	1・2後	1								兼1
	キャリア科目58(未開講)	1・2前	1								兼1
	キャリア科目59	1・2前	1								兼2
	キャリア科目60	1・2後	1								兼1
	開放科目1	1・2前	2								兼1
	開放科目2(未開講)	1・2前	2								兼1
	開放科目3(未開講)	1・2後	2								兼1
	開放科目4	1・2後	2								兼1
	開放科目5(未開講)	1・2前	2								兼1
	開放科目6(未開講)	1・2後	2								兼1
	開放科目7(未開講)	1・2前	1								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
開放科目	開放科目8	1・2前		2							兼4
	開放科目9	1・2後		1							兼1
	開放科目10	1・2前		1							兼3
	開放科目11	1・2後		2							兼1
工学基礎科目	物理・化学Ⅰ	1前	2			1	2				
	物理・化学Ⅱ	1後	2			2	1				
	工学基礎実験	1前	1			1	2		3		
	数学演習Ⅰ	1前	1						2		
	数学演習Ⅱ	1後	1			1			2		
工学英語科目	工学英語Ⅰ	3前	1			1			1		
	工学英語Ⅱ	3後	1			1					兼1
関連科目C	社会と企業	1後	2								兼1
	インターンシップ	3前		2							
学科基盤科目	力学Ⅰ	1前	2			1	2				
	力学Ⅱ	1後	2			2	1				
	空間デザイン演習Ⅰ	1前	2			2	4				兼1
	空間デザイン演習Ⅱ	1後	2			2	4				兼1
	エンジニアリング・コミュニケーション	2前		1		1					
	情報処理基礎	2前		1					1		
	微分方程式	2前		2							兼1
	ベクトル・フーリエ解析	2前		2							兼1
	構造力学基礎	2前		2			1				
	水理学基礎	2前		2			1				
	土質力学	2前		2			1				
	土木力学演習Ⅰ	2前		1			2				
	都市史	2前		2			1				
	土木計画数理Ⅰ	2前		2		1					
	都市地域計画学	2前		2		1					
	建築構造力学Ⅰ	2前		2			1				
	建築材料Ⅰ	2前		2			1				
	建築材料実験	2前		1			1		1		
	建築環境工学Ⅰ	2前		2			1		1		
	建築設計演習Ⅰ	2前		2			1				
	建築計画Ⅰ	2前		2			1				
	日本建築史	2前		2		1					
	工学倫理	2後	2								兼1
	安全工学	4前		2							兼1
	知的財産権	4前		2							兼1
	プロダクトデザイン演習Ⅰ	3前		1							兼1
	プロダクトデザイン演習Ⅱ	3後		1							兼1
土木工学教育プログラム専門科目	土木デザイン	3後	4				1				
	土木工学実験	3前	2			1	3				
	情報処理応用	2後	1						1		
	測量学	3前		2			1				
	測量実習	3前		1			1				
	総合情報演習	3前	1						1		
	土木計画数理Ⅱ	2後	2			1					
	構造力学応用	2後	2				1				
	水理学応用	2後	2						1		
	地盤工学	2後	2			1					
	土木力学演習Ⅱ	2後	1			1			1		
	建設振動学	3前		2			1				
	コンクリート構造学	3後	2				1				
	地球環境学	2後	2				1				
	環境建設材料学	3前	2			1					
	水質環境工学	3前	2			1					
	応用測量学	3後		2			1				
	景観工学	2後		2			1				
	河川工学	3前		2					1		
	交通計画学	2後		2			1				
	地域防災学	3前		2			1				
	災害リスク工学	3後		2			1				
	環境生態保全学	3前	2				1				
	海岸工学	3後		2		1					
	環境地盤工学	3後		2			1				
	岩盤工学	3後		2			1				
	土木工学総合演習	4前	1			6	11		2		
	卒業研究	4後	4			6	11		2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
開放科目	開放科目8	1・2前		2							兼1
	開放科目9	1・2後		1							兼1
	開放科目10	1・2前		1							兼1
	開放科目11	1・2後		2							兼1
	開放科目12	1・2後		2							兼1
	開放科目13	1・2前		1							兼1
	開放科目14	1・2後		1							兼1
	開放科目15	1・2後		2							兼1
	開放科目16	1・2後		2							兼1
工学基礎科目	物理・化学Ⅰ	1①	2			1	1				
	物理・化学Ⅱ	1⑤	2			1	1				
	工学基礎実験	1前	1			1	2		3		
	数学演習Ⅰ	1前	1						2		
工学英語科目	工学英語Ⅰ	2前	1								兼1
	工学英語Ⅱ	2後	1								兼1
	工学英語Ⅲ	3前	1				1		1		
	工学英語Ⅳ	3後	1				1				兼1
関連科目C	社会と企業	1後	2			1	1				
	インターンシップ	3前		2			1				
学科基盤科目	力学Ⅰ	1②	2			1	2				
	力学Ⅱ	1④	2			2	1				
	空間デザイン演習Ⅰ	1前	2			2	4				兼1
	空間デザイン演習Ⅱ	1後	2			2	4				兼1
	エンジニアリング・コミュニケーション	2前		1		1					
	情報処理基礎	2前		1					1		
	微分方程式	2①		2							兼1
	ベクトル・フーリエ解析	2②		2							兼1
	構造力学基礎	2①		2			1				
	水理学基礎	2②		2			1				
	土質力学	2①		2			1				
	土木力学演習Ⅰ	2前		1			2				
	都市史	2①		2			1				
	土木計画数理Ⅰ	2②		2		1					
	都市地域計画学	2②		2		1					
	建築構造力学Ⅰ	2①		2			1				
	建築材料Ⅰ	2①		2			1				
	建築材料実験	2前		1			1		1		
	建築環境工学Ⅰ	2①		2			1		1		
	建築設計演習Ⅰ	2前		2			1				
	建築計画Ⅰ	2②		2			1				
	日本建築史	2②		2		1					
	工学倫理	2後	2								兼1
	安全工学	4前		2							兼1
	知的財産権	4前		2							兼1
	プロダクトデザイン演習Ⅰ	3前		2							兼1
	プロダクトデザイン演習Ⅱ	3後		2							兼1
土木工学教育プログラム専門科目	土木デザイン	3後	4				1				
	土木工学実験	3前	2			1	3				
	情報処理応用	2後	1						1		
	測量学	3①		2			1				
	測量実習	3①		1			1				
	総合情報演習	3前	1						1		
	土木計画数理Ⅱ	2④		2		1					
	構造力学応用	2③		2			1				
	水理学応用	2④		2					1		
	地盤工学	2③		2		1					
	土木力学演習Ⅱ	2後	1			1			1		
	建設振動学	3②		2			1				
	コンクリート構造学	3③		2			1				
	地球環境学	2③		2			1				
	環境建設材料学	3②		2		1					
	水質環境工学	3①		2		1					
	応用測量学	3④		2			1				
	景観工学	2③		2			1				
	河川工学	3②		2					1		
	交通計画学	2④		2			1				
	地域防災学	3①		2			1				
	災害リスク工学	3③		2			1				
	環境生態保全学	3②		2			1				
	海岸工学	3③		2		1					
	環境地盤工学	3④		2			1				
	岩盤工学	3④		2			1				
	土木工学総合演習	4前	1			5	11		2		
	卒業研究	4後	4			5	11		2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
地域デザイン教育プログラム専門科目	都市計画演習	3前	4			2					
	公共空間デザイン	3後	4			2					
	情報処理応用	2後	1						1		
	測量学	3前		2		1					
	測量実習	3前		1		1					
	CAD演習	3前	1			1					
	土木計画数値Ⅱ	2後	2			1					
	構造力学応用	2後	2			1					
	水理学応用	2後		2					1		
	地盤工学	2後		2		1					
	土木力学演習Ⅱ	2後		1		1			1		
	建設振動学	3前		2		1					
	コンクリート構造学	3後		2		1					
	地球環境学	2後	2			1					
	環境建設材料学	3前		2		1					
	水質環境工学	3前		2		1					
	応用測量学	3後		2		1					
	景観工学	2後	2			1					
	交通計画学	2後	2			1					
	地域防災学	3前		2		1					
	災害リスク工学	3後		2		1					
	環境生態保全学	3前		2		1					
	都市情報学	2後		2		1					
	都市環境工学	3前		2		1			1		
	都市・建築の法規	3後		2							兼1
	地域デザイン総合演習	4前	1			6	11		2		
	卒業研究	4後	4			6	11		2		
建築学教育プログラム専門科目	特別講義	3前		2			1				兼1
	建築法規	3後		2							兼1
	建築構造力学Ⅱ	2後		2		1					
	建築構造力学演習Ⅰ	2前		1		1			2		
	建築構造力学演習Ⅱ	2後		1		1			2		
	鋼構造Ⅰ	3前		2		1					
	鋼構造Ⅱ	3後		2		1					
	構造設計法	3前		2		1					
	耐震構造	3後		2		1					
	建築材料Ⅱ	2後		2		1					
	鉄筋コンクリート構造Ⅰ	3前		2		1					
	鉄筋コンクリート構造Ⅱ	3後		2		1					
	構造材料設計演習	3後		1		1	1				
	建築施工管理	4前		2							兼1
	建築環境工学Ⅱ	2後		2							
	建築環境工学Ⅲ	3前		2		1			1		
	建築環境工学演習	3後		2		2			1		
	建築設備計画学	3後		2		1					兼1
	建築設計演習Ⅱ	2後		2		1					兼1
	建築設計演習Ⅲ	3前		4							兼1
	建築設計演習Ⅳ	3後		4		2					兼1
	デザインシミュレーション	3前		2		2					
	建築計画Ⅱ	2後		2		1					
	西洋建築史Ⅰ	2後		2		1					
	西洋建築史Ⅱ	3前		2		1					
	近代建築史・保存論	3後		2		1	1				
	都市計画	2後		2		1					
	建築学設計演習	4前		2		2	9		3		
	建築設計スタジオⅠ	4前		2		1					
	卒業研究	4通		8		2	9		3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
地域デザイン教育プログラム専門科目	都市計画演習	3前	4			2					
	公共空間デザイン	3後	4			2					
	情報処理応用	2後	1						1		
	測量学	3前		2		1					
	測量実習	3前		1		1					
	CAD演習	3前	1			1					
	土木計画数値Ⅱ	2後	2			1					
	構造力学応用	2後	2			1					
	水理学応用	2後		2					1		
	地盤工学	2後		2		1					
	土木力学演習Ⅱ	2後		1		1			1		
	建設振動学	3前		2		1					
	コンクリート構造学	3後		2		1					
	地球環境学	2後	2			1					
	環境建設材料学	3前		2		1					
	水質環境工学	3前		2		1					
	応用測量学	3後		2		1					
	景観工学	2後	2			1					
	交通計画学	2後	2			1					
	地域防災学	3前		2		1					
	災害リスク工学	3後		2		1					
	環境生態保全学	3前		2		1					
	都市情報学	2後		2		1					
	都市環境工学	3前		2		1			1		
	都市・建築の法規	3後		2							兼1
	地域デザイン総合演習	4前	1			5	11		2		
	卒業研究	4後	4			5	11		2		
建築学教育プログラム専門科目	特別講義	3前		2			1				兼1
	建築法規	3後		2							兼1
	建築構造力学Ⅱ	2後		2		1					
	建築構造力学演習Ⅰ	2前		1		1			2		
	建築構造力学演習Ⅱ	2後		1		1			2		
	鋼構造Ⅰ	3前		2		1					
	鋼構造Ⅱ	3後		2		1					
	構造設計法	3前		2		1					
	耐震構造	3後		2		1					
	建築材料Ⅱ	2後		2		1					
	鉄筋コンクリート構造Ⅰ	3前		2		1					
	鉄筋コンクリート構造Ⅱ	3後		2		1					
	構造材料設計演習	3後		1		1	1				
	建築施工管理	4前		2							兼1
	建築環境工学Ⅱ	2後		2							
	建築環境工学Ⅲ	3前		2		1			1		
	建築環境工学演習	3後		2		2			1		
	建築設備計画学	3後		2		1					兼1
	建築設計演習Ⅱ	2後		2		1					兼1
	建築設計演習Ⅲ	3前		4							兼1
	建築設計演習Ⅳ	3後		4		2					兼1
	デザインシミュレーション	3前		2		2					
	建築計画Ⅱ	2後		2		1					
	西洋建築史Ⅰ	2後		2		1					
	西洋建築史Ⅱ	3前		2		1					
	近代建築史・保存論	3後		2		1	1				
	都市計画	2後		2		1					
	建築学設計演習	4前		2		2	9		3		
	建築設計スタジオⅠ	4前		2		1					
	卒業研究	4通		8		2	9		3		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・教育上の効果を高めるため、	「文系のための数学入門(C)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「物理学入門(B)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「生物の世界(h)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「地球環境の現状と人類(a)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「地球環境の現状と人類(b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「倫理学入門(C)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「倫理学入門(g)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「倫理学入門(h)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「心と世界(A)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代心理行動学(c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代心理行動学(d)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代心理行動学(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「芸術文化論(B)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「モノが語る歴史(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「モノが語る歴史(f)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「地域の世界史(i)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「日本社会の歴史(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「日本社会の歴史(f)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「法学の基礎(D)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「法学の基礎(E)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「法学の基礎(F)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代政治の諸相(g)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「最前線の社会文化研究(B)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代社会の解説(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「自然と人間の地理学(a)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「自然と人間の地理学(b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「自然と人間の地理学(c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「数学と文化(c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「数学と文化(d)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「物理学の世界(A)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「暮らしと化学(E)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「暮らしと化学(F)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「暮らしと化学(G)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「化学と環境(a)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「化学と環境(b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「最先端の生命科学(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「最先端の生命科学(f)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「健康の科学(C)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「病気の医科学(C)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「臨床医学の最前線(B)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代社会と医学(C)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「心身の健康と看護(D)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「心身の健康と看護(E)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「医療における理工学(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代医療と生命科学(c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「薬科学入門(a)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「薬科学入門(b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代教育について考える(a)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代教育について考える(b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代教育について考える(c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代教育について考える(d)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代と文学(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代と文学(f)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代世界の形成と課題(c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「暮らしの中の憲法」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代社会と経済(A)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代の政治(a)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「現代の政治(b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Introduction to Science and Technology I (b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Introduction to Science and Technology I (c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Introduction to Science and Technology I (d)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Introduction to Science and Technology I (e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Introduction to Science and Technology II (b)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Introduction to Science and Technology II (c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Socio-Cultural Studies(D)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Socio-Cultural Studies(c)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Socio-Cultural Studies(d)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Statistics(a)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Academic Foundations(a)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Area Studies(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Area Studies(f)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Area Studies(g)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Area Studies(h)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Comprehensive English Communication (a)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Technical English Communication(e)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「Technical English Communication(h)」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「英語C-1」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「英語C-2」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「英語I-1」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「英語I-2」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「ドイツ語I-1」を新設。
・教育上の効果を高めるため、	「ドイツ語I-2」を新設。

- 14

- 16

- ・教育上の効果を高めるため、「日本語C-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「日本語D-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「日本語D-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「日本語I-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「日本語II-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「日本語III-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「日本語III-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼6」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「日本語IV-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼8」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「情報基礎A」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「情報基礎B」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「肥後熊本学」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼16」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「微分積分I」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」「兼10」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「微分積分II」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」「兼8」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「線形代数I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼12」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「線形代数II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼11」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「統計学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「統計学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「物理学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「物理学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「物理学基盤実験」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「化学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「化学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「化学基盤実験」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「生物学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「生物学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「生物学基盤実験」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「地学I」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「地学II」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「体育・スポーツ科学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目1」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目2」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目3」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目5」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目6」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目7」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目9」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼9」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目51」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目52」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目53」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「キャリア科目54」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「開放科目8」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「開放科目10」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「物理・化学I」の配当年次を「1前」から「1①」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「物理・化学I」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の転出により、「物理・化学I」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「物理・化学II」の配当年次を「1後」から「1③」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「物理・化学II」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「数学演習I」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、「数学演習II」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教2」から「准教授2」「助教0」に変更。
- ・教養教育のカリキュラム見直しにより、「工学英語I」の名称を「工学英語III」に変更。
- ・教養教育のカリキュラム見直しにより、「工学英語II」の名称を「工学英語IV」に変更。
- ・教養教育のカリキュラム見直しにより、「工学英語I」を新設。
- ・教養教育のカリキュラム見直しにより、「工学英語II」を新設。
- ・教育上の効果を高めるため、「社会と企業」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「力学I」の配当年次を「1前」から「1②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「力学II」の配当年次を「1後」から「1④」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「微分方程式」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「ベクトル・フーリエ解析」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「構造力学基礎」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「水理学基礎」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「土質力学」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「都市史」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「土木計画数理I」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「都市地域計画学」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「建築構造力学I」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「建築材料I」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「建築環境工学I」の配当年次を「2前」から「2①」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「建築計画I」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「日本建築史」の配当年次を「2前」から「2②」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロダクトデザイン演習I」の単位数を「1」から「2」に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、「プロダクトデザイン演習II」の単位数を「1」から「2」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「測量学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「測量実習」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「土木計画数理II」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「構造力学応用」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「水理学応用」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「地盤工学」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「建設振動学」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「コンクリート構造学」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「地球環境学」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「環境建設材料学」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「水質環境工学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「応用測量学」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「景観工学」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「河川工学」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「交通計画学」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「地域防災学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。

- ・クォーター制への移行により、「災害リスク工学」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「環境生態保全学」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「海岸工学」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「環境地盤工学」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「岩盤工学」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
- ・担当教員の転出により、「土木工学総合演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・担当教員の転出により、「土木工学教育プログラム専門科目」における「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「都市情報学」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「都市環境工学」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
- ・担当教員の転出により、「地域デザイン総合演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・担当教員の転出により、「地域デザイン教育プログラム専門科目」における「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「建築構造力学Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「鋼構造Ⅰ」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「鋼構造Ⅱ」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「構造設計法」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「耐震構造」の配当年次を「3後」から「3④」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「建築材料Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「鉄筋コンクリート構造Ⅰ」の配当年次を「3前」から「3①」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「鉄筋コンクリート構造Ⅱ」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「建築環境工学Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「建築環境工学Ⅲ」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「建築計画Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「西洋建築史Ⅰ」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「西洋建築史Ⅱ」の配当年次を「3前」から「3②」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「近代建築史・保存論」の配当年次を「3後」から「3③」に変更。
- ・クォーター制への移行により、「都市計画」の配当年次を「2後」から「2④」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
59 科目	62 科目	0 科目	121 科目	61 科目 [2]	62 科目 [0]	0 科目 [0]	123 科目 [2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	物理学入門(A)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
2	物理学入門(i)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
3	地球環境の現状と人類(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
4	倫理学入門(B)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
5	心と世界(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
6	思考と論理(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
7	現代心理行動学(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
8	現代心理行動学(b)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
9	文学の諸相(c)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
10	文学の諸相(d)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
11	モノが語る歴史(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
12	モノが語る歴史(b)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
13	モノが語る歴史(c)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
14	モノが語る歴史(d)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
15	地域の世界史(d)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
16	地域の世界史(f)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
17	地域の世界史(h)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
18	法学の基礎(B)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
19	現代経済問題の諸相(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
20	現代政治の諸相(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
21	最前線の社会文化研究(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
22	最前線の社会文化研究(b)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
23	最前線の社会文化研究(h)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
24	現代社会の解説(b)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
25	自然と人間の地理学(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
26	自然と人間の地理学(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
27	自然と人間の地理学(C)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
28	数学と文化(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
29	数学と文化(b)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
30	暮らしと化学(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
31	暮らしと化学(b)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
32	化学と環境(A)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
33	化学と環境(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
34	化学と環境(C)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
35	最先端の生命科学(A)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
36	健康の科学(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
37	病気の医科学(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
38	臨床医学の最前線(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
39	心身の健康と看護(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
40	心身の健康と看護(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
41	心身の健康と看護(C)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
42	薬科学入門(B)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
43	現代社会と薬学(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
44	現代教育について考える(B)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
45	現代教育について考える(C)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
46	現代と文学(c)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
47	現代と文学(d)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
48	最先端の法学(A)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
49	現代社会と経済(c)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
50	現代社会と経済(d)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
51	現代社会と経済(e)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
52	日本事情(C)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無

5 3	日本事情(D)	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
5 4	Introduction to Science and Technology I (a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
5 5	Introduction to Science and Technology II (a)	1	1・2前・後	一般	選択	休講、代替措置無
5 6	Basic Economics(b)	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
5 7	Music and Humanity(a)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
5 8	Area Studies(c)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
5 9	Area Studies(d)	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
6 0	Area Studies(E)	1	1・2前・後	一般	選択	休講、代替措置無
6 1	Technical English Communication(c)	1	1・2前・後	一般	選択	休講、代替措置無
6 2	Technical English Communication(d)	1	1・2前・後	一般	選択	休講、代替措置無
6 3	Technical English Communication(E)	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
6 4	コリア語a-1	1	1前	一般	選択	休講、代替措置無
6 5	コリア語a-2	1	1後	一般	選択	休講、代替措置無
6 6	フランス語Ⅱ-1	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
6 7	フランス語Ⅱ-2	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
6 8	微分積分概論	2	1前	一般	選択	休講、代替措置無
6 9	線形代数概論	2	1後	一般	選択	休講、代替措置無
7 0	キャリア科目4	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
7 1	キャリア科目8	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
7 2	キャリア科目5 8	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
7 3	開放科目2	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
7 4	開放科目3	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
7 5	開放科目5	2	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
7 6	開放科目6	2	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
7 7	開放科目7	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教養教育の開講科目については、各教員の授業コマ数等に応じて毎年度変更を行っており、履修上の問題はない。

学生への周知方法としては、開講する科目の時間割表を配付し、さらに掲示版に最新の時間割表を貼付すること等により、十分周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{77}{481} = \boxed{} 16\%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	放送大学熊本学習センターとの共用623㎡		
	校 舎 敷 地	475, 024 (20, 770) ㎡	623㎡	0㎡	475, 647 (20, 770) ㎡	地上権設定者：財団法人熊本テクノポリス財団		
	運動場用地	39, 752 (0) ㎡	0㎡	0㎡	39, 752 (0) ㎡	地上権設定期間：S62. 9. 1から30年間		
	小 計	514, 776 (20, 770) ㎡	623㎡	0㎡	515, 399 (20, 770) ㎡	(H29. 9. 1から延長予定)―H32. 3. 31まで延長(30) 19, 945㎡		
	そ の 他	144, 293 (0) ㎡	0㎡	0㎡	144, 293 (0) ㎡	貸与者：熊本市借用期間：H29. 4. 1からH30. 3. 31(以降、毎年度更新予定)―H30. 4. 1からH31. 3. 31(30) 494㎡		
	合 計	659, 069 (20, 770) ㎡	623㎡	0㎡	659, 692 (20, 770) ㎡	貸与者：益城町借用期間：H28. 10. 1からH30. 9. 30 331㎡		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	放送大学熊本学習センターの専用1, 112㎡		
		457, 740㎡ (457, 740㎡)	0㎡ (0㎡)	1, 112㎡ (1, 112㎡)	458, 852㎡ (458, 852㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		122室	90室	1, 206室	9室 (補助職員 6人)	12室 (補助職員 3人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		工学部 土木建築学科			33 室			
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	大学全体	1, 255, 975 [482, 340] (1, 255, 975 [482, 340])	21, 266 [7, 207] (21, 266 [7, 207])	17, 031 [15, 706] (17, 031 [15, 706])	2, 184 (2, 184)	67, 684 (67, 684)	35 (35)	
	計	1, 255, 975 [482, 340] (1, 255, 975 [482, 340])	21, 266 [7, 207] (21, 266 [7, 207])	17, 031 [15, 706] (17, 031 [15, 706])	2, 184 (2, 184)	67, 684 (67, 684)	35 (35)	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体
		12, 347㎡		936		1, 035, 084		
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体
		8, 244㎡		陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等				
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 学 校 名 称	熊 本 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
【学部】	年	人	年次 人	人		倍			
文学部									
総合人間学科	4	55	－	220	学士 (文学)	1.03	平成17年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
歴史学科	4	35	－	140	学士 (文学)	1.06	平成17年度	同上	
文学科	4	50	－	200	学士 (文学)	1.01	平成17年度	同上	
コミュニケーション情報学科	4	30	－	120	学士 (文学)	1.16	平成17年度	同上	
学部共通			3年次 10	20	学士 (文学)	－	平成11年度	同上	
教育学部									
小学校教員養成課程	4	110	－	440	学士 (教育学)	1.06	昭和24年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
中学校教員養成課程	4	70	－	280	学士 (教育学)	1.13	昭和24年度	同上	
特別支援教育教員養成課程	4	20	－	80	学士 (教育学)	1.11	平成19年度	同上	
養護教諭養成課程	4	30	－	120	学士 (教育学)	1.06	昭和52年度	同上	
地域共生社会課程	4	－	－	－	学士 (教育学)	－	平成12年度	同上	平成29年より学生募集停止
生涯スポーツ福祉課程	4	－	－	－	学士 (教育学)	－	平成9年度	同上	平成29年より学生募集停止
法学部									
法学科	4	210	－	840	学士 (法学)	1.02	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
学部共通			3年次 10	20	学士 (法学)	－	平成12年度	同上	
理学部									
理学科	4	200	－	780	学士 (理学)	1.01	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
医学部									
医学科	6	115	－	690	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
保健学科	4	144	－	576	学士(看護学、保健学)	1.03	平成15年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
保健学科共通			3年次 16	32	学士(看護学、保健学)	－	平成18年度	同上	
薬学部									
薬学科	6	55	－	330	学士 (薬学)	1.01	平成18年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
創薬・生命薬科学科	4	35	－	140	学士(創薬科学、生命薬科学)	1.02	平成18年度	同上	
工学部									
土木建築学科	4	124	3年次 10	124	学士 (工学)	1.07	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	

機械数理工学科	4	109	3年次 10	109	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
情報電気工学科	4	149	3年次 20	149	学士 (工学)	1.04	平成30年度	同上	
材料・応用化学科	4	131	3年次 5	131	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
物質生命化学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
数理工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
学部共通			3年次 45	90	学士 (工学)	—	平成10年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院教育学研究科									
(修士課程)									
学校教育実践専攻	2	7	—	14	修士 (教育学)	1.13	平成21年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
教科教育実践専攻	2	23	—	46	修士 (教育学)	1.00	平成21年度	同上	
(専門職学位課程)									
教職実践開発専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	0.93	平成29年度	同上	
大学院社会文化科学研究科									
(博士前期課程)									
公共政策学専攻	2	13	—	23	修士 (公共政策学、学術)	0.30	平成20年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	
法学専攻	2	12	—	21	修士 (法学)	0.54	平成20年度	同上	
現代社会人間学専攻	2	18	—	36	修士 (文学、法学、学術)	0.82	平成20年度	同上	
文化学専攻	2	18	—	36	修士 (文学、学術)	0.85	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	2	15	—	30	修士 (教授システム学、学術)	1.06	平成20年度	同上	
(博士後期課程)									
人間・社会科学専攻	3	6	—	18	博士 (文学、法学、公共政策学、学術)	0.61	平成20年度	同上	
文化学専攻	3	6	—	18	博士 (文学、学術)	0.60	平成20年度	同上	
教授システム学専攻	3	3	—	9	博士 (学術)	1.22	平成20年度	同上	
大学院自然科学教育部									
(博士前期課程)									
理学専攻	2	110	—	110	修士 (理学、学術)	0.80	平成30年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
土木建築学専攻	2	75	—	75	修士 (工学、学術)	1.12	平成30年度	同上	
機械数理工学専攻	2	65	—	65	修士 (工学、学術)	1.07	平成30年度	同上	
情報電気工学専攻	2	103	—	103	修士 (工学、学術)	1.10	平成30年度	同上	
材料・応用化学専攻	2	90	—	90	修士 (工学、学術)	1.08	平成30年度	同上	
(博士後期課程)									
理学専攻	3	12	—	12	博士 (理学、学術)	0.50	平成30年度	同上	

工学専攻	3	46	—	46	博士 (工学、学術)	0.41	平成30年度	同上	
大学院自然科学研究科 (博士前期課程)									
理学専攻	2	—	—	—	修士 (理学、学術)	—	平成18年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	平成30年より学生募集停止
数学専攻	2	—	—	—	修士 (理学、学術)	—	平成22年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	2	—	—	—	修士 (理学、工学、学術)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
物質生命化学専攻	2	—	—	—	修士 (工学、学術)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
マテリアル工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学、学術)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学、学術)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学、学術)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
社会環境工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学、学術)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
建築学専攻	2	—	—	—	修士 (工学、学術)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
(博士後期課程)									
理学専攻	3	—	—	—	博士 (理学、学術)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
複合新領域科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学、工学、学術)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
産業創造工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学術)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
情報電気電子工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学術)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
環境共生工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学、学術)	—	平成18年度	同上	平成30年より学生募集停止
大学院医学教育部 (修士課程)									
医科学専攻	2	20	—	40	修士 (医科学、健康生命科学)	0.67	平成15年度	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	
(博士課程)									
医学専攻	4	88	—	352	博士 (医学、生命科学、健康生命科学)	0.78	平成20年度	同上	
大学院保健学教育部 (博士前期課程)									
保健学専攻	2	24	—	48	修士 (保健学、看護学)	0.91	平成22年度	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号	
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	6	—	18	博士 (保健学、看護学)	1.16	平成22年度	同上	
大学院薬学教育部 (博士前期課程)									
創薬・生命薬科学専攻	2	35	—	70	修士 (薬科学、健康生命科学)	0.85	平成22年度	熊本市中央区大江本町5番1号	
(博士後期課程)									
創薬・生命薬科学専攻	3	10	—	30	博士 (薬科学、生命科学、健康生命科学)	0.93	平成24年度	同上	
(博士課程)									
医療薬学専攻	4	8	—	32	博士 (薬学)	0.99	平成24年度	同上	

大学院法曹養成研究科 (専門職学位課程) 法曹養成専攻	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成16年度	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号	平成28年より学生募集停止
-----------------------------------	---	---	---	---	---------------	---	--------	---------------------	---------------

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 土木建築学科>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専任	教授	齋藤 靖 <平成30年4月>	専任	教授	齋藤 靖 <平成30年4月> 英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語C-1 キャリア科目1 キャリア科目2
専任	准教授	井上 尚夫 <平成30年4月>	専任	准教授	井上 尚夫 <平成30年4月> 微分積分I 微分積分II 文系のための数学入門(A) 数学の世界(a)
専任	准教授	村里 泰昭 <平成30年4月>	専任	准教授	村里 泰昭 <平成30年4月> 英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語C-2 キャリア科目51
専任	准教授	川越 明日香 <平成30年4月>	専任	准教授	川越 明日香 <平成30年4月> 現代心理行動学(e)
兼任	教授	濱名 裕治 <平成30年4月> 文系のための数学入門(A) 数学の世界(a) 数学の世界(b) キャリア科目2 キャリア科目51	兼任	教授	濱名 裕治 <平成30年4月> 線形代数I 数学の世界(b)
兼任	准教授	小塚 敏之 <平成30年4月> 物理学入門(A)	兼任	准教授	小塚 敏之 <平成30年4月> 物理学入門(A) 物理学の世界(A)
兼任	准教授	横井 裕之 <平成30年4月> 物理学入門(A)	兼任	准教授	横井 裕之 <平成30年4月> 物理学入門(B)
兼任	教授	市川 聡夫 <平成30年4月> 物理学入門(a) 物理学入門(b)	兼任	教授	市川 聡夫 <平成30年4月> 物理学基礎実験 物理学入門(a) 物理学入門(b)
兼任	教授	安仁屋 勝 <平成30年4月> 物理学入門(c) 物理学入門(d)	兼任	教授	安仁屋 勝 <平成30年4月> 物理学入門(c) 物理学入門(d)
兼任	教授	福島 和洋 <平成30年4月> 物理学入門(e)			
			兼任	准教授	岸本 敬太 <平成30年4月> 物理学入門(e)

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	高橋 慶太郎 <平成30年4月>
		物理学入門(f) 物理学の世界(a) 開放科目5
兼任	准教授	小澄 大輔 <平成30年4月>
		物理学入門(g) 物理学入門(h)
兼任	助教	中島 陽一 <平成30年4月>
		物理学入門(i) 物理学入門(j)
兼任	教授	速水 真也 <平成30年4月>
		教養の化学(A)
兼任	教授	松田 真生 <平成30年4月>
		教養の化学(B)
兼任	教授	藤本 斉 <平成30年4月>
		教養の化学(a) 教養の化学(b)
兼任	教授	高宮 正之 <平成30年4月>
		肥後熊本学 生物の世界(A)
兼任	准教授	伊豆田 俊二 <平成30年4月>
		生物の世界(B)
兼任	准教授	杉浦 直人 <平成30年4月>
		生物の世界(C)
兼任	助教	井手上 賢 <平成30年4月>
		生物の世界(D)
兼任	助教	寺本 進 <平成30年4月>
		生物学基盤実験 生物の世界(D)
兼任	助教	但馬 達哉 <平成30年4月>
		生物の世界(D)
兼任	教授	逸見 泰久 <平成30年4月>
		生物の世界(D)
兼任	准教授	江頭 恒 <平成30年4月>
		生物の世界(a)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	高橋 慶太郎 <平成30年4月>
		物理学入門(f) 物理学の世界(a)
兼任	准教授	小澄 大輔 <平成30年4月>
		物理学入門(g) 物理学入門(h)
兼任	助教	中島 陽一 <平成30年4月>
		物理学入門(j)
兼任	教授	速水 真也 <平成30年4月>
		化学II 教養の化学(A)
兼任	教授	松田 真生 <平成30年4月>
		化学I 教養の化学(B)
兼任	教授	藤本 斉 <平成30年4月>
		教養の化学(a) 教養の化学(b) 暮らしと化学(F)
兼任	教授	高宮 正之 <平成30年4月>
		生物の世界(A)
兼任	准教授	伊豆田 俊二 <平成30年4月>
		生物の世界(B)
兼任	准教授	杉浦 直人 <平成30年4月>
		生物の世界(C)
兼任	助教	井手上 賢 <平成30年4月>
		生物学基盤実験
兼任	助教	寺本 進 <平成30年4月>
		生物学基盤実験 生物の世界(D)
兼任	准教授	江頭 恒 <平成30年4月>
		生物の世界(a)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	武智 克彰 <平成30年4月>	兼任	准教授	武智 克彰 <平成30年4月>
		生物の世界(b) 生物の世界(c)			生物の世界(b) 生物の世界(c)
兼任	教授	高宗 和史 <平成30年4月>	兼任	教授	高宗 和史 <平成30年4月>
		生物の世界(d)			生物の世界(d)
兼任	准教授	嶋永 元裕 <平成30年4月>	兼任	准教授	嶋永 元裕 <平成30年4月>
		生物の世界(e)			生物の世界(e)
兼任	教授	瀧尾 進 <平成30年4月>	兼任	教授	瀧尾 進 <平成30年4月>
		生物の世界(f)			生物の世界(f)
兼任	准教授	中山 由紀 <平成30年4月>	兼任	准教授	中山 由紀 <平成30年4月>
		生物の世界(g)			生物の世界(g)
			兼任	准教授	北野 健 <平成30年4月>
					生物の世界(h)
兼任	教授	磯部 博志 <平成30年4月>	兼任	教授	磯部 博志 <平成30年4月>
		地球環境の現状と人 類(A) 地球環境科学の最前 線(g)			地学基盤実験 地球環境の現状と人 類(a) 地球環境の現状と人 類(b) 地球環境科学の最前 線(g)
兼任	准教授	藤見 俊夫 <平成30年4月>	兼任	准教授	藤見 俊夫 <平成30年4月>
		持続可能な都市と地 域づくり(A)			持続可能な都市と地 域づくり(A)
兼任	教授	大谷 順 <平成30年4月>	兼任	教授	大谷 順 <平成30年4月>
		持続可能な都市と地 域づくり(B)			持続可能な都市と地 域づくり(B)
兼任	教授	大本 照憲 <平成30年4月>	兼任	教授	大本 照憲 <平成30年4月>
		持続可能な都市と地 域づくり(B)			持続可能な都市と地 域づくり(B)
兼任	教授	辻本 剛三 <平成30年4月>	兼任	教授	辻本 剛三 <平成30年4月>
		持続可能な都市と地 域づくり(B)			持続可能な都市と地 域づくり(B)
兼任	准教授	尾上 幸造 <平成30年4月>	兼任	准教授	尾上 幸造 <平成30年4月>
		持続可能な都市と地 域づくり(B)			持続可能な都市と地 域づくり(B)

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	鳥居 修一 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させる ものづくり(A)
兼任	教授	中西 義孝 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させる ものづくり(B) ものづくりの科学と 技術(B)
兼任	准教授	松田 俊郎 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させる ものづくり(C)
兼任	教授	佐久川 貴志 〈平成30年4月〉
		日々の生活に垣間見 る情報と通信(A)
兼任	教授	松島 章 〈平成30年4月〉
		日々の生活に垣間見 る情報と通信(A)
兼任	准教授	伊賀崎 伴彦 〈平成30年4月〉
		日々の生活に垣間見 る情報と通信(B) 暮らしと情報・通信 技術(a)
兼任	准教授	久我 守弘 〈平成30年4月〉
		日々の生活に垣間見 る情報と通信(B) 暮らしと情報・通信 技術(a)
兼任	准教授	杉本 裕司 〈平成30年4月〉
		倫理学入門(A) 倫理学入門(B)
兼任	教授	田中 朋弘 〈平成30年4月〉
		倫理学入門(a) 倫理学入門(b)
兼任	教授	八幡 英幸 〈平成30年4月〉
		倫理学入門(e) 倫理学入門(f)
兼任	准教授	大辻 正晴 〈平成30年4月〉
		思考と論理(A)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	鳥居 修一 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させる ものづくり(A) Introduction to Science and Technology I (b) Introduction to Science and Technology I (c)
兼任	教授	中西 義孝 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させる ものづくり(B) ものづくりの科学と 技術(B)
兼任	准教授	松田 俊郎 〈平成30年4月〉
		豊かさを持続させる ものづくり(C)
兼任	教授	松島 章 〈平成30年4月〉
		日々の生活に垣間見 る情報と通信(A)
兼任	准教授	伊賀崎 伴彦 〈平成30年4月〉
		日々の生活に垣間見 る情報と通信(B) 暮らしと情報・通信 技術(a)
兼任	准教授	杉本 裕司 〈平成30年4月〉
		倫理学入門(A)
兼任	教授	田中 朋弘 〈平成30年4月〉
		倫理学入門(a) 倫理学入門(b)
兼任	教授	八幡 英幸 〈平成30年4月〉
		倫理学入門(e) 倫理学入門(f)
兼任	准教授	佐藤 岳詩 〈平成30年4月〉
		倫理学入門(g) 倫理学入門(h)
兼任	准教授	大辻 正晴 〈平成30年4月〉
		思考と論理(A)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	千川 隆 ＜平成30年4月＞			
		現代心理行動学(a)			
兼任	准教授	菊池 哲平 ＜平成30年4月＞			
		現代心理行動学(b)			
			兼任	准教授	本吉 大介 ＜平成30年4月＞
					現代心理行動学(c)
			兼任	准教授	藤原 志帆 ＜平成30年4月＞
					現代心理行動学(d)
兼任	准教授	高岸 幸弘 ＜平成30年4月＞			
		こころの科学(A)			
兼任	教授	知久馬 義朗 ＜平成30年4月＞			
		こころの科学(A)			
兼任	教授	藤田 豊 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	藤田 豊 ＜平成30年4月＞
		こころの科学(A)			こころの科学(A)
兼任	准教授	高崎 文子 ＜平成30年4月＞			
		こころの科学(A)			
兼任	准教授	木村 博子 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	木村 博子 ＜平成30年4月＞
		芸術文化論(A)			芸術文化論(A)
			兼任	教授	園枝 春恵 ＜平成30年4月＞
					芸術文化論(B)
兼任	教授	堀畑 正臣 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	堀畑 正臣 ＜平成30年4月＞
		言語の諸相(a) 言語の諸相(b)			言語の諸相(a) 言語の諸相(b)
兼任	教授	児玉 望 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	児玉 望 ＜平成30年4月＞
		言語の諸相(c) 言語の諸相(d)			言語の諸相(c) 言語の諸相(d)
兼任	准教授	跡上 史郎 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	跡上 史郎 ＜平成30年4月＞
		肥後熊本学 文学の諸相(a) 文学の諸相(b)			文学の諸相(a) 文学の諸相(b)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	坂元 昌樹 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	坂元 昌樹 ＜平成30年4月＞
		肥後熊本学 地域づくりと科学技 術 (F) 日本事情 (C) 文学の諸相 (c) 文学の諸相 (d)			肥後熊本学 地域づくりと科学技 術 (F)
兼任	教授	小畑 弘己 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	小畑 弘己 ＜平成30年4月＞
		日本事情 (C) モノが語る歴史 (a) モノが語る歴史 (b)			モノが語る歴史 (a) モノが語る歴史 (f)
兼任	准教授	杉井 健 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	杉井 健 ＜平成30年4月＞
		モノが語る歴史 (c) モノが語る歴史 (d)			肥後熊本学
兼任	准教授	中川 順子 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	中川 順子 ＜平成30年4月＞
		地域の世界史 (a) 地域の世界史 (b)			地域の世界史 (a) 地域の世界史 (b)
兼任	准教授	小林 晃 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	小林 晃 ＜平成30年4月＞
		地域の世界史 (e) 地域の世界史 (f)			地域の世界史 (e)
兼任	教授	伊藤 正彦 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	伊藤 正彦 ＜平成30年4月＞
		地域の世界史 (g) 地域の世界史 (h)			地域の世界史 (g)
			兼任	准教授	三瓶 弘喜 ＜平成30年4月＞
					地域の世界史 (i) 現代世界の形成と課 題 (c)
兼任	准教授	岩崎 竹彦 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	岩崎 竹彦 ＜平成30年4月＞
		日本社会の歴史 (a) 日本社会の歴史 (b)			日本社会の歴史 (a) 日本社会の歴史 (b)
兼任	准教授	今村 直樹 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	今村 直樹 ＜平成30年4月＞
		日本社会の歴史 (c) 日本社会の歴史 (d)			日本社会の歴史 (c) 日本社会の歴史 (d)
			兼任	准教授	安高 啓明 ＜平成30年4月＞
					日本社会の歴史 (a) 日本社会の歴史 (f)
兼任	教授	深町 公信 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	深町 公信 ＜平成30年4月＞
		法学の基礎 (A)			法学の基礎 (A)
兼任	教授	苑田 亜矢 ＜平成30年4月＞			
		法学の基礎 (B)			
兼任	教授	林 一郎 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	林 一郎 ＜平成30年4月＞
		日本事情 (D) 法学の基礎 (C)			法学の基礎 (C)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	鈴木 寛之 <平成30年4月>	兼任	准教授	鈴木 寛之 <平成30年4月>
		最前線の社会文化研究(g) 最前線の社会文化研究(h)			肥後熊本学 最前線の社会文化研究(g)
兼任	教授	山本 努 <平成30年4月>	兼任	教授	山本 努 <平成30年4月>
		現代社会の解読(a) 現代社会の解読(b)			現代社会の解読(a)
兼任	教授	中川 輝彦 <平成30年4月>	兼任	教授	中川 輝彦 <平成30年4月>
		日本事情(D) 現代社会の解読(c) 現代社会の解読(d)			現代社会の解読(c) 現代社会の解読(d)
			兼任	准教授	多田 光宏 <平成30年4月>
					現代社会の解読(e)
兼任	教授	鹿嶋 洋 <平成30年4月>	兼任	教授	鹿嶋 洋 <平成30年4月>
		自然と人間の地理学(A)			自然と人間の地理学(a) 自然と人間の地理学(b)
兼任	准教授	米島 万有子 <平成30年4月>			
		自然と人間の地理学(B)			
兼任	准教授	山本 耕三 <平成30年4月>	兼任	准教授	山本 耕三 <平成30年4月>
		自然と人間の地理学(C)			自然と人間の地理学(c)
兼任	教授	宮崎 誓 <平成30年4月>	兼任	教授	宮崎 誓 <平成30年4月>
		数学と文化(a)			数学と文化(a) 数学と文化(d)
兼任	教授	伊藤 仁一 <平成30年4月>			
		数学と文化(b)			
兼任	准教授	中村 政明 <平成30年4月>			
		暮らしと化学(A)			
兼任	准教授	石川 勇人 <平成30年4月>	兼任	准教授	石川 勇人 <平成30年4月>
		暮らしと化学(B)			暮らしと化学(B)
兼任	教授	島田 秀昭 <平成30年4月>	兼任	教授	島田 秀昭 <平成30年4月>
		暮らしと化学(C)			暮らしと化学(C)
兼任	准教授	村田 貴広 <平成30年4月>	兼任	准教授	村田 貴広 <平成30年4月>
		暮らしと化学(D)			暮らしと化学(D)
兼任	教授	西野 宏 <平成30年4月>	兼任	教授	西野 宏 <平成30年4月>
		肥後熊本学			暮らしと化学(E)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	入江 亮 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	入江 亮 ＜平成30年4月＞
		化学II 暮らしと化学(a) 暮らしと化学(b)			化学II 暮らしと化学(a)
兼任	教授	戸田 敬 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	戸田 敬 ＜平成30年4月＞
		化学I 化学と環境(A)			化学と環境(a)
兼任	准教授	大平 慎一 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	大平 慎一 ＜平成30年4月＞
		化学と環境(B)			化学と環境(b)
兼任	准教授	中田 晴彦 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	中田 晴彦 ＜平成30年4月＞
		化学と環境(C)			肥後熊本学
兼任	講師	江角 重行 ＜平成30年4月＞			
		最先端の生命科学(A)			
兼任	助教	西村 方孝 ＜平成30年4月＞			
		最先端の生命科学(A)			
兼任	助教	竹本 誠 ＜平成30年4月＞			
		最先端の生命科学(A)			
兼任	助教	那須 信 ＜平成30年4月＞			
		最先端の生命科学(A)			
兼任	准教授	文東 美紀 ＜平成30年4月＞			
		最先端の生命科学(A) 病気の医科学(A)			
兼任	准教授	古嶋 昭博 ＜平成30年4月＞			
		最先端の生命科学(a)			
兼任	教授	荒木 喜美 ＜平成30年4月＞			
		最先端の生命科学(a)			
兼任	講師	鳥越 大輔 ＜平成30年4月＞			
		最先端の生命科学(a)			
兼任	准教授	荒木 正健 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	荒木 正健 ＜平成30年4月＞
		最先端の生命科学(a) 最先端の生命科学(b)			最先端の生命科学(a) 最先端の生命科学(b)
兼任	助教	杉本 道彦 ＜平成30年4月＞			
		最先端の生命科学(a)			

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	竹田 直樹 <平成30年4月>			
		最先端の生命科学(a)			
兼任	助教	島崎 達也 <平成30年4月>			
		最先端の生命科学(a)			
兼任	講師	竹尾 透 <平成30年4月>			
		最先端の生命科学(b)			
兼任	助教	吉信 公美子 <平成30年4月>			
		最先端の生命科学(b)			
兼任	教授	中瀧 直己 <平成30年4月>			
		最先端の生命科学(b)			
兼任	助教	村松 昌 <平成30年4月>			
		最先端の生命科学(b)			
兼任	教授	南 敬 <平成30年4月>			
		最先端の生命科学(b) 薬科学入門(B)			
兼任	教授	田邊 力 <平成30年4月>	兼任	教授	田邊 力 <平成30年4月>
		最先端の生命科学(c)			最先端の生命科学(c)
兼任	准教授	渡邊 重義 <平成30年4月>	兼任	准教授	渡邊 重義 <平成30年4月>
		最先端の生命科学(c)			最先端の生命科学(c)
兼任	教授	鈴 伸也 <平成30年4月>	兼任	教授	鈴 伸也 <平成30年4月>
		最先端の生命科学(d)			最先端の生命科学(d)
			兼任	教授	相田 光宏 <平成30年4月>
					最先端の生命科学(e)
			兼任	准教授	檜垣 匠 <平成30年4月>
					最先端の生命科学(e)
			兼任	教授	副島 顯子 <平成30年4月>
					生物学I 最先端の生命科学(f)
兼任	教授	松田 博貴 <平成30年4月>	兼任	教授	松田 博貴 <平成30年4月>
		地学基盤実験 地球環境科学の最前 線(A)			地球環境科学の最前 線(A)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	横瀬 久芳 <平成30年4月>	兼任	准教授	横瀬 久芳 <平成30年4月>
		地球環境科学の最前線(a) 地球環境科学の最前線(b) 開放科目3			地球環境科学の最前線(a) 地球環境科学の最前線(b)
兼任	助教	可児 智美 <平成30年4月>	兼任	助教	可児 智美 <平成30年4月>
		地球環境科学の最前線(c) 地球環境科学の最前線(d)			地球環境科学の最前線(c) 地球環境科学の最前線(d)
兼任	准教授	小松 俊文 <平成30年4月>	兼任	准教授	小松 俊文 <平成30年4月>
		地球環境科学の最前線(c) 地球環境科学の最前線(d)			肥後熊本学 地球環境科学の最前線(c) 地球環境科学の最前線(d)
兼任	准教授	小島 知子 <平成30年4月>	兼任	准教授	小島 知子 <平成30年4月>
		地球環境科学の最前線(e) 地球環境科学の最前線(f)			地学II 地球環境科学の最前線(e) 地球環境科学の最前線(f)
兼任	教授	長谷中 利昭 <平成30年4月>	兼任	教授	長谷中 利昭 <平成30年4月>
		地球環境科学の最前線(g) 開放科目4			肥後熊本学 地球環境科学の最前線(g) 開放科目4 地球環境科学の最前線(h) 開放科目15
兼任	准教授	望月 伸竜 <平成30年4月>	兼任	准教授	望月 伸竜 <平成30年4月>
		地球環境科学の最前線(h)			地球環境科学の最前線(h)
兼任	教授	溝上 章志 <平成30年4月>	兼任	教授	溝上 章志 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技術(A)			地域づくりと科学技術(A)
			兼任	准教授	星野 裕司 <平成30年4月>
					地域づくりと科学技術(A)
			兼任	准教授	田中 尚人 <平成30年4月>
					地域づくりと科学技術(A)
			兼任	准教授	園山 琢也 <平成30年4月>
					地域づくりと科学技術(A)
兼任	准教授	竹内 裕希子 <平成30年4月>	兼任	准教授	竹内 裕希子 <平成30年4月>
		肥後熊本学			地域づくりと科学技術(A)
兼任	教授	川越 保徳 <平成30年4月>	兼任	教授	川越 保徳 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技術(B)			地域づくりと科学技術(B)

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	伊東 龍一 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技 術(C) 地域づくりと科学技 術(F)
兼任	准教授	大西 康伸 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技 術(D)
兼任	准教授	武田 浩二 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技 術(E)
兼任	学長	原田 信志 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技 術(F)
兼任	准教授	三沢 純 <平成30年4月>
		肥後龍本学 地域づくりと科学技 術(F)
兼任	教授	藤原 和人 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(A)
兼任	教授	丸茂 康男 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(C)
兼任	准教授	佐々木 満 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(D)
兼任	准教授	森村 茂 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(D)
兼任	准教授	吉本 惣一郎 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(E)
兼任	教授	栗原 清二 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(E)
兼任	准教授	緒方 智成 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(F)
兼任	教授	國武 雅司 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(F)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	伊東 龍一 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技 術(C) 地域づくりと科学技 術(F)
兼任	准教授	大西 康伸 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技 術(D)
兼任	准教授	武田 浩二 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技 術(E)
兼任	学長	原田 信志 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技 術(F)
兼任	准教授	三沢 純 <平成30年4月>
		肥後龍本学 地域づくりと科学技 術(F)
兼任	教授	藤原 和人 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(A)
兼任	教授	丸茂 康男 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(C)
兼任	准教授	佐々木 満 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(D)
兼任	准教授	森村 茂 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(D)
兼任	准教授	吉本 惣一郎 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(E)
兼任	教授	栗原 清二 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(E)
兼任	准教授	緒方 智成 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(F)
兼任	教授	國武 雅司 <平成30年4月>
		ものづくりの科学と 技術(F)

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	新留 琢郎 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と 技術 (G)
兼任	教授	安藤 新二 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と 技術 (H)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	新留 琢郎 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と 技術 (G) キャリア科目52 キャリア科目53
兼任	准教授	杉本 学 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と 技術 (G)
兼任	准教授	高藤 誠 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と 技術 (G)
兼任	教授	安藤 新二 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と 技術 (H) 開放科目12
兼任	教授	河村 能人 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と 技術 (H)
兼任	准教授	橋新 剛 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と 技術 (H)
兼任	教授	高島 和希 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と 技術 (H)
兼任	准教授	山崎 倫昭 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と 技術 (H)
兼任	教授	松田 元秀 〈平成30年4月〉
		ものづくりの科学と 技術 (H)
兼任	准教授	岡島 寛 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信 技術 (a)
兼任	准教授	緒方 公一 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信 技術 (a)
兼任	准教授	常田 明夫 〈平成30年4月1〉
		暮らしと情報・通信 技術 (a)
兼任	教授	松永 信智 〈平成30年4月〉
		暮らしと情報・通信 技術 (a)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	福迫 武 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術 (b)
兼任	教授	勝木 淳 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術 (c)
兼任	准教授	齋藤 和也 ＜平成30年4月＞ 健康の科学 (A)
兼任	教授	後藤 知己 ＜平成30年4月＞ 健康の科学 (B)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	上田 裕市 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術(a)
		西本 昌彦 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術(a)
兼任	教授	福迫 武 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術(b)
		末吉 敏則 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術(b)
兼任	教授	飯田 全広 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術(b)
		有次 正義 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術(b)
兼任	教授	櫻井 保志 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術(b)
		趙 華安 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術(b)
兼任	教授	勝木 淳 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術(c)
		池上 知顯 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術(c)
兼任	教授	中村 有水 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術(c)
		藤吉 孝則 ＜平成30年4月＞ 暮らしと情報・通信技術(c)
兼任	教授	後藤 知己 ＜平成30年4月＞ 健康の科学(B) 健康の科学(C)

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 伸子 <平成30年4月>
		健康の科学(B)
兼任	准教授	秋月 百合 <平成30年4月>
		健康の科学(B)
兼任	教授	松田 芳子 <平成30年4月>
		健康の科学(B)
兼任	教授	仲里 仁史 <平成30年4月>
		健康の科学(B)
兼任	准教授	長谷 真 <平成30年4月>
		健康の科学(B)
兼任	准教授	入谷 仁士 <平成30年4月>
		健康の科学(B)
兼任	教授	山梨 八重子 <平成30年4月>
		健康の科学(B)
兼任	助教	遠藤 元登 <平成30年4月>
		病気の医科学(A)
兼任	教授	押海 裕之 <平成30年4月>
		病気の医科学(A)
兼任	准教授	魏 范研 <平成30年4月>
		病気の医科学(A)
兼任	教授	山縣 和也 <平成30年4月>
		病気の医科学(A)
兼任	教授	尾池 雄一 <平成30年4月>
		病気の医科学(A)
兼任	教授	富澤 一仁 <平成30年4月>
		病気の医科学(A)
兼任	助教	門松 毅 <平成30年4月>
		病気の医科学(A)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 伸子 <平成30年4月>
		健康の科学(B) 健康の科学(C)
兼任	准教授	秋月 百合 <平成30年4月>
		健康の科学(B) 健康の科学(C)
兼任	教授	松田 芳子 <平成30年4月>
		健康の科学(B) 健康の科学(C)
兼任	教授	仲里 仁史 <平成30年4月>
		健康の科学(B) 健康の科学(C)
兼任	准教授	長谷 真 <平成30年4月>
		健康の科学(B) 健康の科学(C)
兼任	准教授	入谷 仁士 <平成30年4月>
		健康の科学(B) 健康の科学(C)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	坂梨 京子 <平成30年4月>			
		心身の健康と看護(B)			
兼任	准教授	安武 綾 <平成30年4月>			
		心身の健康と看護(C)			
			兼任	講師	永田 まなみ <平成30年4月>
					心身の健康と看護(D)
			兼任	助教	福山 美季 <平成30年4月>
					心身の健康と看護(D)
			兼任	教授	河野 宏明 <平成30年4月>
					心身の健康と看護(E)
兼任	准教授	内山 良一 <平成30年4月>			内山 良一 <平成30年4月>
		医療における理工学 (a)	兼任	准教授	医療における理工学 (a) 医療における理工学 (a)
兼任	教授	白石 順二 <平成30年4月>			
		医療における理工学 (a)			
兼任	准教授	米田 哲也 <平成30年4月>			
		医療における理工学 (a)			
兼任	教授	村上 龍次 <平成30年4月>			
		医療における理工学 (b)			
兼任	助教	辻田 直子 <平成30年4月>			
		医療における理工学 (b)			
兼任	教授	富口 静二 <平成30年4月>	兼任	教授	富口 静二 <平成30年4月>
		医療における理工学 (b)			医療における理工学 (a)
兼任	教授	荒木 不次男 <平成30年4月>			荒木 不次男 <平成30年4月>
		医療における理工学 (c)	兼任	教授	医療における理工学 (b) 医療における理工学 (a)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	大野 剛 <平成30年4月>			
		医療における理工学 (C)			
兼任	講師	藤原 康博 <平成30年4月>	兼任	講師	藤原 康博 <平成30年4月>
		医療における理工学 (c) 医療における理工学 (d)			医療における理工学 (d)
兼任	教授	船間 芳憲 <平成30年4月>	兼任	教授	船間 芳憲 <平成30年4月>
		医療における理工学 (d)			医療における理工学 (c)
兼任	教授	伊藤 茂樹 <平成30年4月>	兼任	教授	伊藤 茂樹 <平成30年4月>
		医療における理工学 (d)			医療における理工学 (d)
兼任	教授	奥宮 敏可 <平成30年4月>	兼任	教授	奥宮 敏可 <平成30年4月>
		現代の医学検査 (a)			現代の医学検査 (a)
兼任	助教	森 信子 <平成30年4月>	兼任	助教	森 信子 <平成30年4月>
		現代の医学検査 (b)			現代の医学検査 (b)
兼任	教授	大林 光念 <平成30年4月>	兼任	教授	大林 光念 <平成30年4月>
		現代の医学検査 (b)			現代の医学検査 (b)
兼任	教授	大坪 和明 <平成30年4月>	兼任	教授	大坪 和明 <平成30年4月>
		現代医療と生命科学 (a)			現代医療と生命科学 (a)
兼任	教授	畑 裕之 <平成30年4月>	兼任	教授	畑 裕之 <平成30年4月>
		現代医療と生命科学 (b)			現代医療と生命科学 (b)
			兼任	教授	大森 久光 <平成30年4月>
					現代医療と生命科学 (c)
			兼任	教授	柳沼 裕二 <平成30年4月>
					現代医療と生命科学 (c)
兼任	准教授	門脇 大介 <平成30年4月>			
		薬科学入門 (A)			
			兼任	教授	香月 博志 <平成30年4月>
					薬科学入門 (A)
			兼任	教授	寺沢 宏明 <平成30年4月>
					薬科学入門 (A)

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	首藤 剛 <平成30年4月>
		開放科目11
兼任	教授	山縣 ゆり子 <平成30年4月>
		薬科学入門(B) 開放科目8
兼任	准教授	松永 浩文 <平成30年4月>
		薬科学入門(B) 開放科目8
兼任	教授	杉本 幸彦 <平成30年4月>
		薬科学入門(B) 開放科目8
兼任	教授	大塚 雅巳 <平成30年4月>
		薬科学入門(B)
兼任	准教授	藤田 美歌子 <平成30年4月>
		薬科学入門(B)
兼任	教授	森岡 弘志 <平成30年4月>
		薬科学入門(B)
兼任	准教授	城野 博史 <平成30年4月>
		現代社会と薬学(A)
兼任	准教授	渡邊 博志 <平成30年4月>
		現代社会と薬学(A) 開放科目10
兼任	教授	入江 徹美 <平成30年4月>
		現代社会と薬学(A) 開放科目9 開放科目10
兼任	教授	平田 純生 <平成30年4月>
		現代社会と薬学(A) 開放科目10

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	首藤 剛 <平成30年4月>
		薬科学入門(A) 開放科目11
兼任	教授	大隈 純男 <平成30年4月>
		薬科学入門(A)
兼任	教授	中島 誠 <平成30年4月>
		薬科学入門(A)
兼任	教授	塚本 佐知子 <平成30年4月>
		薬科学入門(A)
兼任	教授	森岡 弘志 <平成30年4月>
		薬科学入門(a) 薬科学入門(b)
兼任	教授	入江 徹美 <平成30年4月>
		開放科目9 開放科目10

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	有馬 英俊 ＜平成30年4月＞			
		現代社会と薬学(A)			
兼任	准教授	苫野 一徳 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	苫野 一徳 ＜平成30年4月＞
		現代教育について考 える(A)			現代教育について考 える(A)
兼任	教授	古田 弘子 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	古田 弘子 ＜平成30年4月＞
		現代教育について考 える(B) 開放科目1			現代教育について考 える(a) 開放科目1
兼任	教授	宮瀬 美津子 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	宮瀬 美津子 ＜平成30年4月＞
		現代教育について考 える(B)			現代教育について考 える(b)
兼任	准教授	山口 佳宏 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	山口 佳宏 ＜平成30年4月＞
		現代教育について考 える(B)			キャリア科目14
兼任	教授	雙田 珠己 ＜平成30年4月＞			
		現代教育について考 える(B)			
兼任	准教授	増田 仁 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	増田 仁 ＜平成30年4月＞
		現代教育について考 える(C)			現代教育について考 える(c) 現代教育について考 える(d)
兼任	准教授	中迫 由実 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	中迫 由実 ＜平成30年4月＞
		現代教育について考 える(C)			現代教育について考 える(c) 現代教育について考 える(d)
兼任	教授	武田 珠美 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	武田 珠美 ＜平成30年4月＞
		現代教育について考 える(C)			現代教育について考 える(c) 現代教育について考 える(d)
兼任	准教授	竹中 伸夫 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	竹中 伸夫 ＜平成30年4月＞
		現代教育について考 える(D)			現代教育について考 える(D)
兼任	教授	中山 玄三 ＜平成30年4月＞	兼任	教授	中山 玄三 ＜平成30年4月＞
		現代教育について考 える(D)			現代教育について考 える(D)
兼任	准教授	藤瀬 泰司 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	藤瀬 泰司 ＜平成30年4月＞
		現代教育について考 える(D)			現代教育について考 える(D)
兼任	准教授	梅田 泉 ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	梅田 泉 ＜平成30年4月＞
		日本事情(C) 日本事情(D) 現代教育について考 える(E)			現代教育について考 える(E)

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	寺本 渉 〈平成30年4月〉
		心理学の探求 (A)
兼任	教授	梅田 素博 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (A)
兼任	教授	緒方 信行 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (A)
兼任	教授	袴田 和泉 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (A)
兼任	教授	神野 雄二 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (A)
兼任	准教授	中原 雅彦 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (A)
兼任	准教授	松永 拓己 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (A) 芸術への招待 (C)
兼任	教授	喜久山 悟 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (B)
兼任	准教授	赤木 恭子 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (B)
兼任	准教授	山崎 浩隆 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (B)
兼任	准教授	瀧川 淳 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (B)
兼任	准教授	茂木 俊伸 〈平成30年4月〉
		現代と言語 (a) 現代と言語 (b)
兼任	准教授	仁野平 智明 〈平成30年4月〉
		現代と文学 (a)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	寺本 渉 〈平成30年4月〉
		心理学の探求 (A)
兼任	准教授	松永 拓己 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (A) 芸術への招待 (C)
兼任	教授	喜久山 悟 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (B)
兼任	准教授	赤木 恭子 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (B)
兼任	准教授	山崎 浩隆 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (B) 開放科目14
兼任	准教授	瀧川 淳 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (B) 開放科目13
兼任	准教授	茂木 俊伸 〈平成30年4月〉
		現代と言語 (a) 現代と言語 (b)
兼任	准教授	仁野平 智明 〈平成30年4月〉
		現代と文学 (a)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	竹島 一希 <平成30年4月>	兼任	准教授	竹島 一希 <平成30年4月>
		現代と文学(c) 現代と文学(d)			現代と文学(e) 現代と文学(f)
兼任	准教授	鈴木 啓孝 <平成30年4月>	兼任	准教授	鈴木 啓孝 <平成30年4月>
		現代世界の形成と課題(a) 現代世界の形成と課題(b)			現代世界の形成と課題(a)
			兼任	教授	新井 英永 <平成30年4月>
					現代世界の形成と課題(b)
			兼任	教授	上田 理恵子 <平成30年4月>
					暮らしの中の憲法
			兼任	准教授	徳永 達哉 <平成30年4月>
					暮らしの中の憲法
兼任	准教授	森 大輔 <平成30年4月>			
		日本事情(D) 最先端の法学(A)			
兼任	准教授	大野 正久 <平成30年4月>	兼任	准教授	大野 正久 <平成30年4月>
		現代社会と経済(a) 現代社会と経済(b)			現代社会と経済(a) 現代社会と経済(b)
兼任	教授	吉岡 英美 <平成30年4月>			
		現代社会と経済(d) 現代社会と経済(e)			
兼任	准教授	岩田 奇志 <平成30年4月>	兼任	准教授	岩田 奇志 <平成30年4月>
		中国語a-1 中国語a-2			中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2 現代社会と経済(A)
			兼任	教授	大澤 博明 <平成30年4月>
					現代の政治(a)
			兼任	准教授	阿部 悠貴 <平成30年4月>
					現代の政治(b)
兼任	准教授	安浪 誠祐 <平成30年4月>	兼任	准教授	安浪 誠祐 <平成30年4月>
		英語D-1 英語D-2 学際科目1			英語D-1 英語D-2 学際科目1
兼任	特定 事業 教員	大熊 薫 <平成30年4月>	兼任	特定 事業 教員	大熊 薫 <平成30年4月>
		学際科目2 キャリア科目54 キャリア科目55			学際科目2 キャリア科目54 キャリア科目55

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	特定 事業 教員	天野 慧 ＜平成30年4月＞			
		Area Studies (E) キャリア科目52 キャリア科目53			
兼任	特定 事業 教員	内山 忠 ＜平成30年4月＞	兼任	特定 事業 教員	内山 忠 ＜平成30年4月＞
		肥後熊本学 キャリア科目10 キャリア科目58			肥後熊本学 キャリア科目10 学際科目3
兼任	准教 授	本間 里見 ＜平成30年4月＞	兼任	准教 授	本間 里見 ＜平成30年4月＞
		学際科目3			学際科目3
兼任	教授	楊 萍 ＜平成30年4月＞			
		日本事情C			
兼任	教授	東 徹 ＜平成30年4月＞			
		日本事情C			
兼任	准教 授	OSHIMA KAREN ＜平成30年4月＞	兼任	准教 授	OSHIMA KAREN ＜平成30年4月＞
		英語A-1			英語A-1 英語C-1
			兼任	准教 授	ISEMONGER TAN MAXWELL ＜平成30年4月＞
					英語A-1
			兼任	教授	Gilbert Richard Hill ＜平成30年4月＞
					英語A-1 英語C-1 英語C-2
			兼任	准教 授	PEDERSON STANLEY CLARENCE ＜平成30年4月＞
					英語A-1
			兼任	シニ ア教 員	Laskowski Terry ＜平成30年4月＞
					英語A-1
兼任	特定 事業 教員	MUIR MICHAEL DONALD RAYMOND ＜平成30年4月＞	兼任	特定 事業 教員	MUIR MICHAEL DONALD RAYMOND ＜平成30年4月＞
		World History (c) Technical English Communication (b) Technical English Communication (c) Technical English Communication (f)			英語A-1 英語B-1 World History (c) Technical English Communication (b) Technical English Communication (a) Technical English Communication (f)
兼任	特定 事業 教員	JOHNSON KRISTOPHER DENNIS ＜平成30年4月＞	兼任	特定 事業 教員	JOHNSON KRISTOPHER DENNIS ＜平成30年4月＞
		Technical English Communication (E) Technical English Communication (a) Technical English Communication (d) Technical English Communication (g)			Technical English Communication (e) Technical English Communication (g)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼担	准教授	松岡 浩史 ＜平成30年4月＞ 英語B-1 英語B-2 英語I-1
			兼担	教授	島谷 浩 ＜平成30年4月＞ 英語B-1 英語B-2
			兼担	准教授	片山 圭巳 ＜平成30年4月＞ 英語B-2 英語C-1 英語C-2 英語I-1
			兼担	准教授	合田 美子 ＜平成30年4月＞ 英語D-1 英語D-2
兼担	教授	荻野 蔵平 ＜平成30年4月＞ ドイツ語A-1 ドイツ語A-2	兼担	教授	荻野 蔵平 ＜平成30年4月＞ ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語C-1
			兼担	准教授	館石 宏明 ＜平成30年4月＞ ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語C-2 ドイツ語I-1 ドイツ語I-2 ドイツ語II-1 ドイツ語II-2
兼担	准教授	山田 積 ＜平成30年4月＞ ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語D-1 ドイツ語D-2	兼担	准教授	山田 積 ＜平成30年4月＞ ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語a-1 ドイツ語a-2
			兼担	准教授	井上 暁子 ＜平成30年4月＞ ドイツ語A-1 ドイツ語A-2 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-2
兼担	准教授	Herzog Eberhard ＜平成30年4月＞ ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語a-1 ドイツ語a-2	兼担	准教授	Herzog Eberhard ＜平成30年4月＞ ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語I-1 ドイツ語I-2
			兼担	講師	中島 隆 ＜平成30年4月＞ ドイツ語a-1 ドイツ語a-2 ドイツ語C-1
			兼担	准教授	BAUER Tobias Andreas ＜平成30年4月＞ ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	畑 亜弥子 <平成30年4月>	兼任	准教授	畑 亜弥子 <平成30年4月>
		フランス語C-1 フランス語C-2			フランス語A-1 フランス語A-2 フランス語a-1 フランス語a-2 フランス語C-1 フランス語C-2
兼任	准教授	市川 雅己 <平成30年4月>	兼任	准教授	市川 雅己 <平成30年4月>
		フランス語A-1 フランス語A-2 フランス語a-1 フランス語a-2			フランス語C-1 フランス語C-2
			兼任	准教授	大西 克智 <平成30年4月>
					フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語D-1 フランス語D-2
			兼任	教授	竹内 裕 <平成30年4月>
					フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語a-1 フランス語a-2 フランス語I-1 フランス語I-2
兼任	教授	濱田 明 <平成30年4月>	兼任	教授	濱田 明 <平成30年4月>
		フランス語D-1 フランス語D-2			フランス語A-1 フランス語A-2 フランス語a-1 フランス語a-2 フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語III-1 フランス語III-2
兼任	准教授	Michel SAGAZ <平成30年4月>	兼任	准教授	Michel SAGAZ <平成30年4月>
		フランス語B-1 フランス語B-2			フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語a-1 フランス語a-2 フランス語I-1 フランス語I-2
兼任	教授	劉 静華 <平成30年4月>			
		中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2			
			兼任	准教授	屋敷 信晴 <平成30年4月>
					中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2
			兼任	教授	黨 武彦 <平成30年4月>
					中国語A-1 中国語A-2 中国語B-1 中国語B-2

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	右田 雅裕 <平成30年4月>
		情報基礎A 情報基礎B
兼任	教授	喜多 敏博 <平成30年4月>
		情報処理概論
兼任	准教授	久保田 真一郎 <平成30年4月>
		情報処理概論
兼任	教授	戸田 真志 <平成30年4月>
		情報処理概論
兼任	准教授	松葉 龍一 <平成30年4月1>
		情報処理概論
兼任	教授	杉谷 賢一 <平成30年4月>
		情報処理概論
兼任	教授	中野 裕司 <平成30年4月>
		情報処理概論
兼任	教授	武蔵 泰雄 <平成30年4月>
		情報処理概論
兼任	准教授	北村 士朗 <平成30年4月>
		情報処理概論
兼任	特定 事業 教員	安部 美和 <平成30年4月>
		肥後熊本学
兼任	准教授	一柳 錦平 <平成30年4月>
		肥後熊本学
兼任	教授	稲葉 継陽 <平成30年4月>
		肥後熊本学
兼任	教授	岡田 行雄 <平成30年4月>
		肥後熊本学

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	右田 雅裕 <平成30年4月>
		情報基礎A 情報基礎B
兼任	教授	喜多 敏博 <平成30年4月>
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	准教授	久保田 真一郎 <平成30年4月>
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	教授	戸田 真志 <平成30年4月>
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	准教授	松葉 龍一 <平成30年4月>
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	教授	杉谷 賢一 <平成30年4月>
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	教授	中野 裕司 <平成30年4月>
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	教授	武蔵 泰雄 <平成30年4月>
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	准教授	北村 士朗 <平成30年4月>
		情報基礎A 情報基礎B 情報処理概論
兼任	特定 事業 教員	安部 美和 <平成30年4月>
		キャリア科目52 キャリア科目53
兼任	准教授	一柳 錦平 <平成30年4月>
		肥後熊本学
兼任	教授	岡田 行雄 <平成30年4月>
		肥後熊本学 キャリア科目13

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	松本 智晴 <平成30年4月>
		肥後熊本学
兼任	講師	水野 裕史 <平成30年4月>
		肥後熊本学
兼任	教授	渡邊 高志 <平成30年4月>
		肥後熊本学 開放科目8
兼任	准教授	柊中 智恵子 <平成30年4月>
		肥後熊本学
兼任	教授	原岡 喜重 <平成30年4月>
		微分積分I 微分積分II 線形代数I 線形代数II

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 高志 <平成30年4月>
		肥後熊本学 開放科目8
兼任	准教授	前田 洋助 <平成30年4月>
		肥後熊本学
兼任	教授	澤 智裕 <平成30年4月>
		肥後熊本学
兼任	准教授	阿部 健 <平成30年4月>
		微分積分II
兼任	教授	金 大弘 <平成30年4月>
		微分積分I
兼任	准教授	北別府 悠 <平成30年4月>
		微分積分I
兼任	准教授	谷本 祥 <平成30年4月>
		微分積分I 線形代数I 線形代数II
兼任	准教授	中村 徹 <平成30年4月>
		微分積分I 微分積分II
兼任	教授	原岡 喜重 <平成30年4月>
		微分積分I 微分積分II 線形代数I 線形代数II
兼任	教授	三沢 正史 <平成30年4月>
		微分積分I 微分積分II

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	光永 正治 <平成30年4月>
		物理学基盤実験
兼任	助教	池見 公芳 <平成30年4月>
		化学基盤実験
兼任	教授	斉藤 寿仁 <平成30年4月>
		生物学I
兼任	教授	澤 進一郎 <平成30年4月>
		生物学II
兼任	教授	渋谷 秀敏 <平成30年4月>
		地学I
兼任	准教授	富田 智彦 <平成30年4月>
		地学II

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	光永 正治 <平成30年4月>
		物理学基盤実験
兼任	助教	荒江 祥永 <平成30年4月>
		化学基盤実験
兼任	助教	船津 麻美 <平成30年4月>
		化学基盤実験
兼任	助教	大谷 亮 <平成30年4月>
		化学基盤実験
兼任	助教	池見 公芳 <平成30年4月>
		化学基盤実験
兼任	助教	田中 明 <平成30年4月>
		化学基盤実験
兼任	教授	斉藤 寿仁 <平成30年4月>
		生物学I
兼任	教授	澤 進一郎 <平成30年4月>
		生物学II
兼任	教授	高野 博喜 <平成30年4月>
		生物学II
兼任	准教授	尾上 哲治 <平成30年4月>
		地学I
兼任	教授	渋谷 秀敏 <平成30年4月>
		地学I
兼任	准教授	富田 智彦 <平成30年4月>
		地学II
兼任	講師	伊藤 雅治 <平成30年4月>
		体育・スポーツ科学

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼担	教授	大石 康晴 ＜平成30年4月＞ 体育・スポーツ科学 キャリア科目6 キャリア科目7
兼担	教授	八幡 彩子 ＜平成30年4月＞ キャリア科目3
兼担	准教授	江川 良裕 ＜平成30年4月＞ キャリア科目4
兼担	教授	水元 豊文 ＜平成30年4月＞ キャリア科目5
兼担	准教授	朝田 とも子 ＜平成30年4月＞ キャリア科目8
兼担	講師	寺岡 祥子 ＜平成30年4月＞ キャリア科目9

【平成30年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼担	教授	井福 裕俊 ＜平成30年4月＞ 体育・スポーツ科学
兼担	准教授	坂本 将基 ＜平成30年4月＞ 体育・スポーツ科学
兼担	教授	大石 康晴 ＜平成30年4月＞ 体育・スポーツ科学
兼担	准教授	小澤 雄二 ＜平成30年4月＞ 体育・スポーツ科学
兼担	教授	八幡 彩子 ＜平成30年4月＞ キャリア科目3
兼担	課長	日和田 伸一 ＜平成30年4月＞ キャリア科目3
兼担	准教授	江川 良裕 ＜平成30年4月＞ キャリア科目60
兼担	教授	水元 豊文 ＜平成30年4月＞ キャリア科目5
兼担	教授	塚本 光夫 ＜平成30年4月＞ キャリア科目6 キャリア科目7
兼担	講師	生田 まちよ ＜平成30年4月＞ キャリア科目11
兼担	准教授	河野 憲一郎 ＜平成30年4月＞ キャリア科目12

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	特定 事業 教員	高口 義幸 <平成30年4月> キャリア科目56 キャリア科目57
兼任	教授	細川 伸也 <平成30年4月> 開放科目6
兼任	教授	乾 誠治 <平成30年4月> 開放科目7
兼任	教授	岸田 光代 <平成30年4月> Introduction to Science and Technology I (a) Introduction to Science and Technology II (a)
兼任	特定 事業 教員	CHAN CHEONG JAN <平成30年4月> Music and Humanity (a) Area Studies (c) Area Studies (d)
兼任	特定 事業 教員	RICKARD JOSHUA HOUSTON <平成30年4月> Visual Media A Area Studies (b) Socio-Cultural Studies (A) Socio-Cultural Studies (b)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	特定 事業 教員	高口 義幸 <平成30年4月> キャリア科目56 キャリア科目57
兼任	教授	中村 輝 <平成30年4月> 開放科目16
兼任	教授	QUITAIN ARMANDO TIBIGIN <平成30年4月> Introduction to Science and Technology I (d) Introduction to Science and Technology I (e) Introduction to Science and Technology II (b) Introduction to Science and Technology II (c)
兼任	特定 事業 教員	王 勤華 <平成30年4月> Area Studies (g) Area Studies (h) Socio-Cultural Studies (d) Technical English Communication (h)
兼任	特定 事業 教員	佐々木 葉月 <平成30年4月> Socio-Cultural Studies (D)
兼任	特定 事業 教員	RICKARD JOSHUA HOUSTON <平成30年4月> Visual Media A Area Studies (b) Socio-Cultural Studies (A) Socio-Cultural Studies (b)

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	SIMS LANDER BRYANT <平成30年4月>	兼任	講師	SIMS LANDER BRYANT <平成30年4月>
		Global Career Development (a) Global Career Development (b)			Academic Foundations (a) Area Studies (f) Socio-Cultural Studies (c) Comprehensive English Communication (a) Global Career Development (a) Global Career Development (b)
兼任	教授	KOIKE URSULA HELENA <平成30年4月>	兼任	教授	KOIKE URSULA HELENA <平成30年4月>
		World History (a) World History (b) Basic Economics (a) Basic Economics (b) Music and Humanity (a) Area Studies (a) Area Studies (c) Area Studies (d) Global Career Development (a) Global Career Development (b)			World History (a) World History (b) Academic Foundations (a) Area Studies (a) Global Career Development (a) Global Career Development (b)
兼任	特定 事業 教員	CHEN I CHUN <平成30年4月>	兼任	特定 事業 教員	CHEN I CHUN <平成30年4月>
		Basic Economics (a) Basic Economics (b)			Statistics (a) Basic Economics (a)
兼任	教授	都竹 茂樹 <平成30年4月>	兼任	教授	都竹 茂樹 <平成30年4月>
		Area Studies (E)			Area Studies (e)
兼任	准教 授	河村 洋子 <平成30年4月>			
		Area Studies (E)			
兼任	講師	津野田 尚子 <平成30年4月>			
		心身の健康と看護(C)			
			兼任	講師	村上 純 <平成30年4月>
					文系のための数学入 門(C)
			兼任	講師	清水 俊 <平成30年4月>
					倫理学入門(C)
兼任	講師	伊藤 春美 <平成30年4月>	兼任	講師	伊藤 春美 <平成30年4月>
		倫理学入門(c) 倫理学入門(d)			倫理学入門(c) 倫理学入門(d)
			兼任	講師	岡部 勉 <平成30年4月>
					心と世界(A)
兼任	講師	林 聖雄 <平成30年4月>			
		心と世界(B) 思考と論理(B)			

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	法花津 晃 <平成30年4月>
		地域の世界史(c) 地域の世界史(d)
兼任	講師	井芹 道一 <平成30年4月>
		現代政治の諸相(b) 現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d) 現代政治の諸相(e)
兼任	講師	榎田 禎子 <平成30年4月>
		地球環境科学の最前線(g)
兼任	講師	須藤 靖明 <平成30年4月>
		地球環境科学の最前線(g)
兼任	講師	柏木 潤 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技術(F)
兼任	講師	西川 盛雄 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技術(F)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	法花津 晃 <平成30年4月>
		地域の世界史(c)
兼任	講師	井芹 道一 <平成30年4月>
		現代政治の諸相(b) 現代政治の諸相(c) 現代政治の諸相(d) 現代政治の諸相(e)
兼任	講師	榎田 禎子 <平成30年4月>
		地球環境科学の最前線(g)
兼任	講師	須藤 靖明 <平成30年4月>
		地球環境科学の最前線(g)
兼任	講師	中村 清隆 <平成30年4月>
		地球環境科学の最前線(h)
兼任	講師	池辺 伸一郎 <平成30年4月>
		地球環境科学の最前線(h)
兼任	講師	富家 和男 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技術(B)
兼任	講師	福田 光治 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技術(B)
兼任	講師	柏谷 公希 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技術(B)
兼任	講師	沢畑 亨 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技術(B)
兼任	講師	小川 和久 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技術(B)
兼任	講師	柏木 潤 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技術(F)
兼任	講師	西川 盛雄 <平成30年4月>
		地域づくりと科学技術(F)

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	小野 友道 ＜平成30年4月＞
		地域づくりと科学技 術 (F)
兼任	講師	ローゼン アラン デ イヴィッド ＜平成30年4月＞
		地域づくりと科学技 術 (F)
兼任	講師	岩岡 中正 ＜平成30年4月＞
		地域づくりと科学技 術 (F)
兼任	講師	山口 裕嗣 ＜平成30年4月＞
		健康の科学 (a) 健康の科学 (b)
兼任	講師	片渕 美和子 ＜平成30年4月＞
		現代社会と医学 (B)
兼任	講師	本庄 弘次 ＜平成30年4月＞
		現代社会と医学 (B)
兼任	講師	清田 武俊 ＜平成30年4月＞
		現代社会と医学 (B)
兼任	講師	森永 博史 ＜平成30年4月＞
		現代社会と医学 (B)
兼任	講師	那須 久史 ＜平成30年4月＞
		心身の健康と看護 (C)
兼任	講師	戸渡 洋子 ＜平成30年4月＞
		心身の健康と看護 (C)
兼任	講師	益永 佳予子 ＜平成30年4月＞
		心身の健康と看護 (C)
兼任	講師	猿渡 進平 ＜平成30年4月＞
		心身の健康と看護 (C)

【平成30年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	小野 友道 ＜平成30年4月＞
		地域づくりと科学技 術 (F)
兼任	講師	ローゼン アラン デ イヴィッド ＜平成30年4月＞
		英語1-2 地域づくりと科学技 術 (F)
兼任	講師	岩岡 中正 ＜平成30年4月＞
		地域づくりと科学技 術 (F)
兼任	講師	石倉 恵介 ＜平成30年4月＞
		健康の科学 (a) 健康の科学 (b)
兼任	講師	片渕 美和子 ＜平成30年4月＞
		現代社会と医学 (B) キャリア科目9
兼任	講師	本庄 弘次 ＜平成30年4月＞
		現代社会と医学 (B)
兼任	講師	清田 武俊 ＜平成30年4月＞
		現代社会と医学 (B)
兼任	講師	森永 博史 ＜平成30年4月＞
		現代社会と医学 (B)

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	福山 由起 〈平成30年4月〉
		心身の健康と看護 (C)
兼任	講師	渡邊 功 〈平成30年4月〉
		心理学の探求 (B)
兼任	講師	田島 武安 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (C)
兼任	講師	小林 孝夫 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (C)
兼任	講師	坂本 尚文 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (C)
兼任	講師	古家 良一 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (C)
兼任	講師	坂本 顕子 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (C)
兼任	講師	木崎 康弘 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (C)
兼任	講師	清川 真潮 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (C)
兼任	講師	高橋 ルミ 〈平成30年4月〉
		芸術への招待 (C)
兼任	講師	太田 明 〈平成30年4月〉
		現代世界の形成と課題 (a)
兼任	講師	金 聖孝 〈平成30年4月〉
		現代世界の形成と課題 (a)
兼任	講師	竹下 元子 〈平成30年4月〉
		現代世界の形成と課題 (a)

【平成30年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	有松 操 〈平成30年4月〉
		心身の健康と看護 (E)
兼任	講師	渡邊 功 〈平成30年4月〉
		心理学の探求 (B)
兼任	講師	竹下 元子 〈平成30年4月〉
		キャリア科目9

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	加藤 タケ子 <平成30年4月>			
		現代世界の形成と課題(a)			
兼任	講師	出田 妙子 <平成30年4月>			
		現代世界の形成と課題(a)			
			兼任	講師	大村 春幸 <平成30年4月>
					現代世界の形成と課題(b)
			兼任	講師	国宗 直子 <平成30年4月>
					現代世界の形成と課題(b)
			兼任	講師	中 修一 <平成30年4月>
					現代世界の形成と課題(b)
			兼任	講師	本田 清悟 <平成30年4月>
					現代世界の形成と課題(b)
			兼任	講師	大江 正昭 <平成30年4月>
					暮らしの中の憲法
兼任	講師	Richard Lavin <平成30年4月>	兼任	講師	Richard Lavin <平成30年4月>
		学際科目1			学際科目1
			兼任	講師	高木 スワンナ <平成30年4月>
					英語A-1
			兼任	講師	米岡 ジュリ <平成30年4月>
					英語A-1
			兼任	講師	モーデンソン ロ パート <平成30年4月>
					英語A-1
			兼任	講師	ディビット ジェン キンソン <平成30年4月>
					英語A-1 英語C-2
			兼任	講師	トーネ トッド <平成30年4月>
					英語A-1 英語C-2
			兼任	講師	クレッグ アームス トロング <平成30年4月>
					英語A-1

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	金 敬淑 ＜平成30年4月＞
		コリア語B-1 コリア語B-2
兼任	講師	浦川 登久恵 ＜平成30年4月＞
		コリア語a-1 コリア語a-2
兼任	講師	崔 相振 ＜平成30年4月＞
		コリア語II-1 コリア語II-2
兼任	講師	中村 直美 ＜平成30年4月＞
		日本語B-1 日本語B-2

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	山田 里香 ＜平成30年4月＞
		中国語Ⅰ-1 中国語Ⅰ-2
兼任	講師	伊禮 智香子 ＜平成30年4月＞
		中国語C-1 中国語C-2
兼任	講師	黎 明 ＜平成30年4月＞
		中国語C-1 中国語C-2
兼任	講師	金 敬淑 ＜平成30年4月＞
		コリア語B-1 コリア語B-2
兼任	講師	金 垠周 ＜平成30年4月＞
		コリア語A-1 コリア語A-2
兼任	講師	柳 景茂 ＜平成30年4月＞
		コリア語A-1 コリア語A-2
兼任	講師	浦川 登久恵 ＜平成30年4月＞
		コリア語A-1 コリア語A-2 コリア語B-1 コリア語B-2 コリア語Ⅰ-1 コリア語Ⅰ-2
兼任	講師	キム アリン ＜平成30年4月＞
		コリア語C-1 コリア語C-2
兼任	講師	金 貞淑 ＜平成30年4月＞
		コリア語B-1 コリア語B-2 コリア語C-1 コリア語C-2
兼任	講師	崔 相振 ＜平成30年4月＞
		コリア語Ⅰ-1 コリア語Ⅰ-2 コリア語Ⅱ-1 コリア語Ⅱ-2
兼任	講師	中村 直美 ＜平成30年4月＞
		日本語B-1 日本語B-2 日本語Ⅳ-2

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	古賀 美千留 〈平成30年4月〉	兼任	講師	古賀 美千留 〈平成30年4月〉
		日本語11-1 日本語11-2			日本語A-2 日本語11-2
			兼任	講師	大庭 理恵子 〈平成30年4月〉
					日本語C-2 日本語111-2 日本語1V-2
兼任	特定 事業 教員	吉里 さち子 〈平成30年4月〉	兼任	特定 事業 教員	吉里 さち子 〈平成30年4月〉
		日本語D-1 日本語D-2			日本語D-1 日本語D-2
			兼任	講師	ホジソン ハロルド 〈平成30年4月〉
					英語1-1
			兼任	講師	堀江 智子 〈平成30年4月〉
					中国語1-1 中国語1-2
兼任	講師	太田 丈太郎 〈平成30年4月〉	兼任	講師	太田 丈太郎 〈平成30年4月〉
		ロシア語11-1 ロシア語11-2			ロシア語1-1 ロシア語1-2
兼任	講師	田代 クリスティー ナ 〈平成30年4月〉			
		スペイン語11-1 スペイン語11-2			
			兼任	講師	デ レオン 〈平成30年4月〉
					スペイン語1-1 スペイン語1-2 スペイン語11-1 スペイン語11-2
			兼任	講師	田上 森子 〈平成30年4月〉
					イタリア語1-1 イタリア語1-2
			兼任	講師	国越 道貴 〈平成30年4月〉
					ラテン語1-1 ラテン語1-2
兼任	講師	片山 きよみ 〈平成30年4月〉	兼任	講師	片山 きよみ 〈平成30年4月〉
		日本語1-1 日本語1-2			日本語111-1 日本語111-2 日本語111-2 日本語111-2 日本語1V-2
			兼任	講師	赤木 昌子 〈平成30年4月〉
					日本語111-1 日本語111-2

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	與繩 友子 <平成30年4月>	兼任	講師	與繩 友子 <平成30年4月>
		日本語IV-1			日本語I-2
兼任	講師	岩谷 美代子 <平成30年4月>	兼任	講師	岩谷 美代子 <平成30年4月>
		日本語III-1 日本語III-2			日本語IV-2
			兼任	講師	竹村 朋子 <平成30年4月>
					日本語III-2
			兼任	講師	津留 紀子 <平成30年4月>
					日本語III-2 日本語IV-1 日本語IV-2
兼任	講師	福田 真 <平成30年4月>	兼任	講師	福田 真 <平成30年4月>
		物理学I 物理学II			情報基礎A 情報基礎B 物理学I 物理学II
			兼任	講師	高峰 武 <平成30年4月>
					肥後龍本学
			兼任	講師	春木 秀紀 <平成30年4月>
					数学概論 微分積分I 微分積分II 線形代数I 線形代数II
			兼任	講師	田中 正紀 <平成30年4月>
					線形代数I 線形代数II
			兼任	講師	坂西 文俊 <平成30年4月>
					数学概論 線形代数I 線形代数II 統計学I 統計学II
兼任	講師	前田 定廣 <平成30年4月>			
		微分積分概論 線形代数概論			
			兼任	講師	内藤 幸一郎 <平成30年4月>
					微分積分I 微分積分II 線形代数I 線形代数II
			兼任	講師	高田 佳和 <平成30年4月>
					統計学概論

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	溝上 章志 <平成30年4月>	専	教授	溝上 章志 <平成30年4月>
		空間デザイン演習Ⅰ 空間デザイン演習Ⅱ 都市地域計画学			空間デザイン演習Ⅰ 空間デザイン演習Ⅱ 都市地域計画学
専	教授	村上 聖 <平成30年4月>	専	教授	村上 聖 <平成30年4月>
		物理・化学Ⅰ 物理・化学Ⅱ 力学Ⅰ 力学Ⅱ 鉄筋コンクリート構造Ⅰ 鉄筋コンクリート構造Ⅱ 構造材料設計演習 建築学設計演習 卒業研究(建築学)			物理・化学Ⅰ 力学Ⅰ 力学Ⅱ 鉄筋コンクリート構造Ⅰ 鉄筋コンクリート構造Ⅱ 構造材料設計演習 建築学設計演習 卒業研究(建築学)
専	准教授	大西 康伸 <平成30年4月>	専	准教授	大西 康伸 <平成30年4月>
		空間デザイン演習Ⅰ 建築設計演習Ⅳ デザインシミュレーション 建築計画Ⅱ 建築学設計演習 卒業研究(建築学)			空間デザイン演習Ⅰ 建築設計演習Ⅳ デザインシミュレーション 建築計画Ⅱ 建築学設計演習 卒業研究(建築学)
専	准教授	越智 健之 <平成30年4月>	専	准教授	越智 健之 <平成30年4月>
		特別講義 鋼構造Ⅱ デザインシミュレーション 建築学設計演習 卒業研究(建築学)			特別講義 鋼構造Ⅱ デザインシミュレーション 建築学設計演習 卒業研究(建築学)
専	准教授	尾上 幸造 <平成30年4月>	専	准教授	尾上 幸造 <平成30年4月>
		力学Ⅰ 土木工学実験 コンクリート構造学 土木工学総合演習 卒業研究(土木工学) 地域デザイン総合演習 卒業研究(地域デザイン)			力学Ⅰ 土木工学実験 コンクリート構造学 土木工学総合演習 卒業研究(土木工学) 地域デザイン総合演習 卒業研究(地域デザイン)
専	准教授	葛西 昭 <平成30年4月>	専	准教授	葛西 昭 <平成30年4月>
		構造力学基礎 土木デザイン 構造力学応用 建設振動学 土木工学総合演習 卒業研究(土木工学) 地域デザイン総合演習 卒業研究(地域デザイン)			構造力学基礎 土木デザイン 構造力学応用 建設振動学 土木工学総合演習 卒業研究(土木工学) 地域デザイン総合演習 卒業研究(地域デザイン)
専	准教授	川井 啓二 <平成30年4月>	専	准教授	川井 啓二 <平成30年4月>
		工学基礎実験 建築環境工学Ⅱ 建築環境工学Ⅲ 建築環境工学演習 建築学設計演習 卒業研究(建築学)			工学基礎実験 建築環境工学Ⅱ 建築環境工学Ⅲ 建築環境工学演習 建築学設計演習 卒業研究(建築学)
専	准教授	佐藤 章 <平成30年4月>	専	准教授	佐藤 章 <平成30年4月>
		物理・化学Ⅰ 工学基礎実験 岩盤工学 土木工学総合演習 卒業研究(土木工学) 地域デザイン総合演習 卒業研究(地域デザイン)			物理・化学Ⅱ 工学基礎実験 岩盤工学 土木工学総合演習 卒業研究(土木工学) 地域デザイン総合演習 卒業研究(地域デザイン)
専	准教授	竹内 裕希子 <平成30年4月>	専	准教授	竹内 裕希子 <平成30年4月>
		空間デザイン演習Ⅰ 空間デザイン演習Ⅱ 地域防災学 土木工学総合演習 卒業研究(土木工学) 地域デザイン総合演習 卒業研究(地域デザイン)			空間デザイン演習Ⅰ 空間デザイン演習Ⅱ 地域防災学 土木工学総合演習 卒業研究(土木工学) 地域デザイン総合演習 卒業研究(地域デザイン) 社会と企業

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	武田 浩二 ＜平成30年4月＞	専	准教授	武田 浩二 ＜平成30年4月＞
		物理・化学Ⅰ 物理・化学Ⅱ 力学Ⅰ 力学Ⅱ 建築材料Ⅰ 建築材料実験 建築材料Ⅱ 構造材料設計演習 建築学設計演習 卒業研究（建築学）			物理・化学Ⅰ 力学Ⅰ 力学Ⅱ 建築材料Ⅰ 建築材料実験 建築材料Ⅱ 構造材料設計演習 建築学設計演習 卒業研究（建築学）
専	准教授	田中 智之 ＜平成30年4月＞	専	准教授	田中 智之 ＜平成30年4月＞
		建築計画Ⅰ 公共空間デザイン 建築設計演習Ⅲ 建築設計演習Ⅳ 建築学設計演習 建築設計スタジオⅠ 卒業研究（建築学）			建築計画Ⅰ 公共空間デザイン 建築設計演習Ⅲ 建築設計演習Ⅳ 建築学設計演習 建築設計スタジオⅠ 卒業研究（建築学）
専	准教授	田中 尚人 ＜平成30年4月＞	専	准教授	田中 尚人 ＜平成30年4月＞
		空間デザイン演習Ⅰ 空間デザイン演習Ⅱ 都市史 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）			空間デザイン演習Ⅰ 空間デザイン演習Ⅱ 都市史 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）
専	准教授	友清 衣利子 ＜平成30年4月＞	専	准教授	友清 衣利子 ＜平成30年4月＞
		建築構造力学Ⅰ 建築構造力学Ⅱ 建築構造力学演習Ⅰ 建築構造力学演習Ⅱ 鋼構造Ⅰ 構造設計法 耐震構造 建築学設計演習 卒業研究（建築学）			建築構造力学Ⅰ 建築構造力学Ⅱ 建築構造力学演習Ⅰ 建築構造力学演習Ⅱ 鋼構造Ⅰ 構造設計法 耐震構造 建築学設計演習 卒業研究（建築学）
専	准教授	長谷川 麻子 ＜平成30年4月＞	専	准教授	長谷川 麻子 ＜平成30年4月＞
		工学英語Ⅱ 建築環境工学Ⅰ 都市環境工学 建築環境工学演習 建築設備計画学 建築学設計演習 卒業研究（建築学）			工学英語Ⅳ 建築環境工学Ⅰ 都市環境工学 建築環境工学演習 建築設備計画学 建築学設計演習 卒業研究（建築学）
専	准教授	濱 武英 ＜平成30年4月＞	専	准教授	濱 武英 ＜平成30年4月＞
		水理学基礎 土木力学演習Ⅰ 土木工学実験 地球環境学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）			水理学基礎 土木力学演習Ⅰ 土木工学実験 地球環境学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）
専	准教授	藤見 俊夫 ＜平成30年4月＞	専	准教授	藤見 俊夫 ＜平成30年4月＞
		数学演習Ⅰ 応用測量学 災害リスク工学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）			数学演習Ⅱ 応用測量学 災害リスク工学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）
専	准教授	星野 祐司 ＜平成30年4月＞	専	准教授	星野 祐司 ＜平成30年4月＞
		景観工学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 都市計画演習 公共空間デザイン C A D演習 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）			景観工学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 都市計画演習 公共空間デザイン C A D演習 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	本間 里見 ＜平成30年4月＞	専	准教授	本間 里見 ＜平成30年4月＞
		空間デザイン演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 都市情報学 建築設計演習Ⅱ 都市計画 建築学設計演習 卒業研究（建築学）			空間デザイン演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 都市情報学 建築設計演習Ⅱ 都市計画 建築学設計演習 卒業研究（建築学）
専	准教授	圓山 琢也 ＜平成30年4月＞	専	准教授	圓山 琢也 ＜平成30年4月＞
		インターンシップ 数学演習Ⅱ 交通計画学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 都市計画演習 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）			インターンシップ 数学演習Ⅱ 交通計画学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 都市計画演習 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）
専	准教授	皆川 智子 ＜平成30年4月＞	専	准教授	皆川 智子 ＜平成30年4月＞
		測量学 測量実習 環境生態保全学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）			測量学 測量実習 環境生態保全学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）
専	准教授	椋木 俊文 ＜平成30年4月＞	専	准教授	椋木 俊文 ＜平成30年4月＞
		土質力学 土木力学演習Ⅰ 土木工学実験 環境地盤工学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）			土質力学 土木力学演習Ⅰ 土木工学実験 環境地盤工学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）
専	准教授	吉武 隆一 ＜平成30年4月＞	専	准教授	吉武 隆一 ＜平成30年4月＞
		工学英語Ⅰ 空間デザイン演習Ⅰ 空間デザイン演習Ⅱ 西洋建築史Ⅰ 西洋建築史Ⅱ 近代建築史・保存論 建築学設計演習 卒業研究（建築学）			工学英語Ⅲ 空間デザイン演習Ⅰ 空間デザイン演習Ⅱ 西洋建築史Ⅰ 西洋建築史Ⅱ 近代建築史・保存論 建築学設計演習 卒業研究（建築学）
専	助教	石田 桂 ＜平成30年4月＞	専	助教	石田 桂 ＜平成30年4月＞
		情報処理応用 水理学応用 土木力学演習Ⅱ 河川工学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）			情報処理応用 水理学応用 土木力学演習Ⅱ 河川工学 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）
専	助教	伊藤 結晃 ＜平成30年4月＞	専	助教	伊藤 結晃 ＜平成30年4月＞
		工学基礎実験 情報処理基礎 総合情報演習 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）			工学基礎実験 情報処理基礎 総合情報演習 土木工学総合演習 卒業研究（土木工学） 地域デザイン総合演習 卒業研究（地域デザイン）
専	助教	佐藤 あゆみ ＜平成30年4月＞	専	助教	佐藤 あゆみ ＜平成30年4月＞
		工学基礎実験 数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ 建築材料実験 建築構造力学演習Ⅰ 建築構造力学演習Ⅱ 建築学設計演習 卒業研究（建築学）			工学基礎実験 数学演習Ⅰ 建築材料実験 建築構造力学演習Ⅰ 建築構造力学演習Ⅱ 建築学設計演習 卒業研究（建築学）

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	高田 真人 ＜平成30年4月＞
		工学基礎実験 数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ 建築環境工学Ⅰ 都市環境工学 建築環境工学Ⅲ 建築環境工学演習 建築学設計演習 卒業研究（建築学）
専	助教	山口 信 ＜平成30年4月＞
		工学英語Ⅰ 建築構造力学演習Ⅰ 建築構造力学演習Ⅱ 建築学設計演習 卒業研究（建築学）
兼任	講師	ア-ムストロング レイモンド グ レッグ ＜平成30年4月＞
		工学英語Ⅱ
兼任	講師	瀬戸 康雄 ＜平成30年4月＞
		社会と企業
兼任	講師	岡山 直之 ＜平成30年4月＞
		空間デザイン演習Ⅰ 空間デザイン演習Ⅱ 建築施工管理
兼任	講師	大島 洋一 ＜平成30年4月＞
		微分方程式
兼任	講師	内藤 幸一郎 ＜平成30年4月＞
		ベクトル・フーリエ解析
兼任	講師	岩尾 雄四郎 ＜平成30年4月＞
		工学倫理
兼任	講師	小島 義博 ＜平成30年4月＞
		安全工学
兼任	講師	岩下 卓司 ＜平成30年4月＞
		知的財産権
兼任	講師	飯田 晴彦 ＜平成30年4月＞
		プロダクトデザイン演習Ⅰ プロダクトデザイン演習Ⅱ
兼任	講師	橋本 知章 ＜平成32年4月＞
		都市・建築の法規 建築法規
兼任	講師	久野 泰和 ＜平成32年4月＞
		建築設備計画学
兼任	講師	志垣 孝行 ＜平成31年4月＞
		建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 建築設計演習Ⅳ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	高田 真人 ＜平成30年4月＞
		工学基礎実験 数学演習Ⅰ 建築環境工学Ⅰ 都市環境工学 建築環境工学Ⅲ 建築環境工学演習 建築学設計演習 卒業研究（建築学）
専	助教	山口 信 ＜平成30年4月＞
		工学英語Ⅲ 建築構造力学演習Ⅰ 建築構造力学演習Ⅱ 建築学設計演習 卒業研究（建築学）
兼任	講師	ア-ムストロング レイモンド グ レッグ ＜平成30年4月＞
		工学英語Ⅰ 工学英語Ⅱ 工学英語Ⅳ
兼任	講師	岡山 直之 ＜平成30年4月＞
		空間デザイン演習Ⅰ 空間デザイン演習Ⅱ 建築施工管理
兼任	講師	大島 洋一 ＜平成30年4月＞
		微分方程式
兼任	講師	内藤 幸一郎 ＜平成30年4月＞
		ベクトル・フーリエ解析
兼任	講師	岩尾 雄四郎 ＜平成30年4月＞
		工学倫理
兼任	講師	小島 義博 ＜平成30年4月＞
		安全工学
兼任	講師	岩下 卓司 ＜平成30年4月＞
		知的財産権
兼任	講師	飯田 晴彦 ＜平成30年4月＞
		プロダクトデザイン演習Ⅰ プロダクトデザイン演習Ⅱ
兼任	講師	橋本 知章 ＜平成32年4月＞
		都市・建築の法規 建築法規
兼任	講師	久野 泰和 ＜平成32年4月＞
		建築設備計画学
兼任	講師	志垣 孝行 ＜平成31年4月＞
		建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 建築設計演習Ⅳ

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育上の効果を高めるため、平成30年4月齋藤靖教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年4月井上尚夫准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年4月村里泰昭准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、平成30年4月川越明日香准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、濱名裕治教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、小塚敏之准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、横井裕之准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、市川聡夫教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、福島和洋教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月岸本敬太准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、高橋慶太郎准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中島陽一助教の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、速水真也教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、松田真生教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、藤本斉教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、高宮正之教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、井手上賢助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、但馬達哉助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、逸見泰久教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月北野健准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、磯部博志教授の担当科目を変更及び追加。
- ・教育上の効果を高めるため、馬居修一教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐久川貴志教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、久我守弘准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉本裕司准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月佐藤岳詩准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、千川隆教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、菊池哲平准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月本吉大介准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月藤原志帆准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、高岸幸弘准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、知久馬義朗教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、高崎文子准教授の担当科目を変更。
- ・昇任により、平成30年4月から木村博子准教授を教授に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月國枝春恵教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、跡上史郎准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂元昌樹准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、小畑弘己教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉井健准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、小林晃准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、伊藤正彦教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月三瓶弘喜准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月安高啓明准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、苑田亜矢教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、林一郎教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松原弘信教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中内哲教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、外川健一教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、魚住弘久教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月鈴木桂樹教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、牧野厚史教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月矢原隆行教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、山下裕作教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、鈴木寛之准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、山本努教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中川輝彦教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月多田光宏准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、鹿嶋洋教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、米島万有子准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、山本耕三准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、宮崎誓教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、伊藤仁一教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中村政明准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、西野宏教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、入江亮教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、戸田敬教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、大平慎一准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中田晴彦准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、江角重行講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、西村方孝助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹本誠助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、那須信助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、文東美紀准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、古嶋昭博准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、荒木喜美教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、鳥越大輔講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉本道彦助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹田直樹助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、島崎達也助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹尾透講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉信公美子助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中瀧直己教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、村松昌助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、南敬教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月相田光宏教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月檜垣匠准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月副島顕子教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、松田博貴教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、横瀬久芳准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、小松俊文准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、小島知子准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、長谷中利昭教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月星野裕司准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月田中尚人准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月圓山琢也准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹内裕希子准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、新留琢郎教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月杉本学准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高藤誠准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、安藤新二教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月河村能人教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月橋新剛准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高島和希教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月山崎倫昭准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松田元秀教授就任。

- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月岡島寛准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月緒方公一准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月常田明夫准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松永信智教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月上田裕子教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月西本昌彦教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月末吉敏則教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月飯田全広教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月有次正義教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月櫻井保志教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月趙華安教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月池上知願教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中村有水教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月藤吉孝則教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、齋藤和也准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、後藤知己教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、佐藤伸子講師の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、秋月百合准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、松田芳子教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、仲里仁史教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、長谷真准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、入谷仁士准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、山梨八重子教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、遠藤元善助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、押海裕之教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、魏范研准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、山縣和也教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、尾池雄一教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、富澤一仁教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、門松毅助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、岩本和也教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、福田孝一教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月若山友彦教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月西谷陽子教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、大屋夏生教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松井啓隆教授就任。
- ・昇任により、平成30年4月から門岡康弘准教授を教授に変更
- ・職名の移行により、谷口純一非常勤教員を病院教員に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月藤瀬昇教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、中尾富士子准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、南家貴美代助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、宮崎志保助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂崎京子准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、安武綾准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、南家貴美代助教の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月永田まなみ講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月福山美季助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月河野宏明助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、内山良一准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、白石順二教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、米田哲也准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、村上龍次教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、辻田直子助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、富口静二教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、荒木不次男教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、大野剛助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、藤原康博講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、船間芳憲教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大森久光教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月柳沼裕二教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、門脇大介准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月香月博志教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月寺沢宏明教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、首藤剛准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大槻純男教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中島誠教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月塚本佐知子教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、山縣ゆり子教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、松永浩文准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉本幸彦教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、大塚雅巳教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、藤田美歌子准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、森岡弘志教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、城野博史准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、渡邊博志准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、入江徹美教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、平田純生教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、有馬英俊教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、古田弘子教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、宮瀬美津子教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、山口佳宏准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、雙田珠己教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、増田仁准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中迫由実准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、武田珠美教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、梅田泉准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、梅田素博教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、緒方信行教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、袴田和泉教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、神野雄二教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中原雅彦准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、山崎浩隆准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、瀧川淳准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹島一希准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、鈴木啓孝准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月新井英永教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月上田理恵子教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月徳永達哉准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、森大輔准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉岡英美教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、岩田奇志准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大澤博明教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月阿部悠貴准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、天野慧特定事業教員の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、内山忠特定事業教員の担当科目を変更。

- ・カリキュラム編成の調整により、楊萍教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、東徹教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、OSHIMA KAREN准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月ISEMONGER IAN MAXWELL准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月Gilbert Richard Hill教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月PEDERSON STANLEY CLARENCE准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月Laskowski Terryシニア教員就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、MUIR MICHAEL DONALD RAYMOND特定事業教員の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、JOHNSON KRISTOPHER DENNIS特定事業教員の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月山下徹教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、松瀬憲司教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月折田充教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月池田志郎准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月井原健准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月隈元貞広教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月西川里織准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大野龍浩教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月長嶺寿宣准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月平野順也准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月永尾悟准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月松岡浩史准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月島谷浩教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月合田美子准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、荻野藏平教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月館石宏明准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、山田精准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月井上暁子准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、Herzog Eberhard准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中島隆講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月BAUER Tobias Andreas准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、畑亜弥子准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、市川雅己准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大西克智准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月竹内裕教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、濱田明教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるためMichel SAGAZ准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、劉静華教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月屋敷信晴准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月黨武彦教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月葉陵陵教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月渡邊直土准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月植田均教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月西嶋慎教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中尾健一郎准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、マステン眞理子講師の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月平野貞二特定事業教員就任。
- ・教育上の効果を高めるため、松瀬成子講師の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、喜多敏博教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、久保田真一郎准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、戸田真志教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、松葉龍一准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、杉谷賢一教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、中野裕司教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、武藏泰雄教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、北村士朗准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、安部美和特定事業教員の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、稲葉經陽教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、岡田行雄教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、松本智晴准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、水野裕史講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、袴中智恵子准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月前田洋助准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月澤智裕教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月阿部健准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月金大弘教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月北別府悠准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月谷本祥准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中村徹准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月三沢正史教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月鷺見直哉教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月山田裕史教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月杉崎文亮准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月千吉良直紀准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月木村弘信教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月安藤直也准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月城本啓介教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、岩佐学准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月下條冬樹教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、赤井一郎教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月小出眞路教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月原正大准教授就任。
- ・定年退職により、平成30年4月から光永正治教授を講師に変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月荒江祥永助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月船津麻美助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月大谷亮助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月田中明助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月高野博嘉教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月尾上哲治准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月伊藤雅浩講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月井福裕俊教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月坂本将基准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、大石康晴教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月小澤謙二准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月日和田伸一課長就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、江川良裕准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月塚本光夫教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、朝田とも子准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、寺岡祥子講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月生田まちろ講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月河野憲一郎准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、細川伸也教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、乾誠治教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月中村輝教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、岸田光代教授の担当科目を変更。

- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月QUITAIN ARMANDO TIBIGIN教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、CHAN CHEONG JAN特定事業教員の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月王勁草特定事業教員就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として平成30年4月佐々木葉月特定事業教員就任。
- ・教育上の効果を高めるためSIMS LANDER BRYANT講師の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、KOIKE URSULA HELENA教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、CHEN I CHUN特定事業教員の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、都竹茂樹教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、河村洋子准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、津野田尚子講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月村上純講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月清水俊講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月岡部勉講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、林智雄講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、法花津晃講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中村清隆講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月池辺伸一郎講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月富家男講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月福田光治講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月柏谷公希講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月沢畑亨講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月小川和久講師就任。
- ・教育上の効果を高めるためローゼン アラン ディヴィッド講師の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、山口裕嗣講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月石倉恵介講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため片淵 美和子講師の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、那須久史講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、戸渡洋子講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、益永佳予子講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、猿渡進平講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、福山由起講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月有松操講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、田島武安講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、小林孝夫講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂本尚文講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、古家良一講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂本頼子講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、小崎康弘講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、清川真潮講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、高橋ルミ講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、太田明講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、金聖孝講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹下元子講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、加藤タケ子講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、出田妙子講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大村春孝講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月国宗直子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中修一講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月本田清悟講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大江正昭講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高木スワナ講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月米岡ジュリ講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月モーテンソン ロバート講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ディビット ジェンキンソン講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月トーネ トッド講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月クレグ アームストロング講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ジョシュ ライアン ノーマン講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月カービン ウィリアム講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ウォール ミナミ フィオナ講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月池田裕子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月馬渡美幸講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月竹下裕俊講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月松本充右講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月原口昌子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高津亜吏講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月齊木愛子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月濱田比呂美講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月島村恭輔講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月山本幹樹講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高木信之講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月橋本春男講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月田口誠一講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月角田俊治講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ウォーターフィールド マーク アルフレッド講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中尾敦子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月吉田李佳講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月目正勝常勤講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大西基子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月セパン ミカエル講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月フェレロ イウ ビエール講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月郭麗影講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月山田里香講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月伊禮智香子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月黎明講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月金根周講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月柳景沃講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、浦川登久恵講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月キム アリン講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月金貞淑講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、崔相振講師の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、中村直美講師の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、鹿嶋恵講師の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、古賀美千留講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大庭理恵子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月ホジソン ハロルド講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月堀江智子講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、太田丈太郎講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、田代クリスティーナ講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月デ レオン講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月田上恭子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月国越道貴講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、片山きよみ講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月赤木昌子講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、與縄友子講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、岩谷美代子講師の担当科目を変更。

- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月竹村朋子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月津留紀子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、福田真講師の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高峰武講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月春木秀紀講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月田中正紀講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月坂西文俊講師就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、前田定廣講師の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月内藤幸一郎講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月高田佳和講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月宮本秀一講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月黒岩敬太講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月水月晃講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月井崎美代講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月横田浩講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月柿原一貴講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月中嶋弘二講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月後藤理英子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月村田優子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月藤井有貴子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月徳村美佳講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月森あい講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月田中俊昭講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月猪俣雄也講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月上田由理子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月定政敦夫講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月岩政仁講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月林田直子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月水田光子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月内田良介講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月松村直講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月竹永理恵子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月赤木夏代講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月松尾洋講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月原田真宏講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月伊佐坂功親講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月堀内一輝講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月大隈恵治講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として平成30年4月堤純子講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、伊東龍一教授の授業科目を追加。
- ・他大学転出のため、平成29年4月松田泰治教授就任辞退。
- ・カリキュラム編成の調整により、村上聖教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐藤章准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、竹内裕希子准教授の授業科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、武田浩二准教授の担当科目を変更。
- ・科目名称の変更により、長谷川麻子准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、藤見俊夫准教授の担当科目を変更。
- ・科目名称の変更により、古武隆一准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐藤あゆみ助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、高田真人助教の担当科目を変更。
- ・科目名称の変更により、山口信助教の担当科目を変更。
- ・科目名称の変更及び教育上の効果を高めるため、アムトロン・レイトン・グレッグ講師の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、瀬戸康雄講師の担当科目を変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
11	6
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
9	20	0	5	34	8	20	0	5	33	7	20	0	5	32
(8)	(20)	(0)	(5)	(33)						[△2]	[0]	[0]	[0]	[△2]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 - ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- （注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{32}{34} = \boxed{94.11} \%$$

- （注）・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{0}{33} = \boxed{0} \%$$

- （注）・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	教授	松田 泰治	必修		土木工学総合演習	①	他大学転出のため就任辞退（30）							
			必修		卒業研究	①								
			必修		地域デザイン総合演習	①								
			必修		卒業研究	①								
合計（D）						後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修		4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		4	科目	計	4	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）					後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
人	必修		科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択		科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由		科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計		科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{34} = 2.94 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当予定の科目については、他の専任教員により補完、また後任教員についても採用を予定しており、全体的な教育の質の確保はできている。 学生への周知方法については、授業時間割を大学ホームページに掲載することにより周知している。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 土木建築学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
卒業要件及び履修方法 ①教養教育科目34単位以上、工学基礎科目、工学英語科目、COC関連科目、学科基盤科目の必修科目合計21単位以上を修得すること。 さらに、 ②3つの専門教育プログラムのうちから選択した教育プログラムで開講されている科目の中から、 【土木工学教育プログラム】 土木工学教育プログラム専門科目の必修科目32単位、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目15単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて69単位以上、①との合計で124単位以上 【地域デザイン教育プログラム】 地域デザイン教育プログラム専門科目の必修科目33単位、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目14単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて69単位以上、①との合計で124単位以上 【建築学教育プログラム】 建築学教育プログラム専門科目の必修科目40単位、学科基盤科目選択科目の中で当該教育プログラムが指定した選択科目13単位、およびCOC関連科目、学科基盤科目、当該教育プログラム専門科目の選択科目と合わせて70単位以上、①との合計で125単位以上 を修得すること。	①について、教養教育のカリキュラム見直しに伴い、必修科目として工学英語科目（2科目・2単位）を追加。（「2 授業科目の概要」参照）

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 授業改善FD委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成29年5月17日 第1回授業改善FD委員会開催（参加名数8名中8名） 平成29年11月9日 第2回授業評価FD委員会（メール会議）（参加状況8名中8名） c 委員会の審議事項等 ・FD活動年間計画 ・委員の役割分担 ・ティーチングアワード評価・実施方法 ・成績評価について ・その他FDに関すること
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・教員相互の授業参観
- ・工学部優秀教育者の選考・表彰
- ・学生・教員相互触発型授業検討会の実施
- ・5大学教育連携シンポジウムへの参加
- ・FD講演会の企画・実施
- ・シラバスチェック

b 実施方法

- ・教員相互の授業参観

工学部開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施し、報告書を作成する。

- ・工学部優秀教育者の選考・表彰

1年～3年生の学生を対象に、よかったと思われる授業を投票させ、その結果を基に表彰対象となる授業担当者を表彰する。

- ・学生・教員相互触発型授業検討会の実施

学生と教員が、工学部優秀教育者を交え検討会を開催し、意見交換をする。

- ・5大学教育連携シンポジウムへの参加（山形大学、群馬大学、愛媛大学、徳島大学、熊本大学）

教育問題に関する情報交換や工学教育の向上を目的に開催されているもので、教員と学生が、共に参加し、シンポジウムにおいて発表を行う。

- ・FD講演会の企画・実施

総合情報統括センター実習室にて本学教授システム学研究センターより講師を迎えて「日々の授業でMoodleを活用する」のタイトルで実施。

- ・シラバスチェック

授業改善FD委員により、シラバスチェックを実施し、その結果を評価表に記入し提出する。

提出された評価表に基づき、実施報告書を作成する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教員相互の授業参観

平成29年6月～平成30年1月の間に授業参観を実施し、報告書が提出された。（参加名数90名）

- ・工学部優秀教育者の選考・表彰

平成30年1月9日～19日：各学科・学年の必修科目終了時に、学生による投票を実施。

平成30年1月23日：授業改善FD委員会委員及びTA15名による開票作業を実施。

平成30年3月28日：教授会開催前に表彰式を実施。（被表彰者16名）

- ・学生・教員相互触発型授業検討会の実施

平成29年度分について、今後実施予定である。

- ・5大学教育連携シンポジウムへの参加

平成29年9月21日～22日に徳島大学においてシンポジウム開催。本学部から教員2名、学生2名が参加し、セッションでの発表を行った。

- ・FD講演会の企画・実施

平成30年3月27日実施（参加者12名）

- ・シラバスチェック

平成29年12月6日～平成30年1月12日：授業改善FD委員会によるシラバスチェックを実施。

（参加者8名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・例年、FD関連の事項について工学部FD活動報告書を作成し、実施結果についての分析を行うとともに、学部として情報を共有し、更なる授業改善に活用している。
- ・FD講演会で修得したMoodle活用の技術により、担当教員は授業科目等を熊本大学統合認証対応システム—全学LMS（e-Leamind）Moodleシステムへ登録し活用している。
- ・新シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証した結果を平成30年度シラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 各授業の終了時期（5月下旬、7月中旬、11月中旬、1月下旬頃）に実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

例年、実施結果については、Web上で学生及び教員へ公開している。今年度は未実施のため、実施後に公開予定である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度に自己評価を行い、平成31年4月以降公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成33年度を目処に評価機構（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の認証評価を受けることについて、学内で検討中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年6月1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。